

# クラウドサービス for 簡単バックアップ

## 利用者向けマニュアル

第 2.2 版

リコージャパン株式会社

## マニュアル改訂履歴

版数	発行日	ビルド番号	改訂履歴
第 1.0 版	2014 年 7 月 22 日	1.01	初版発行
第 1.1 版	2014 年 12 月 12 日	1.01	3 システム要件 にサーバを追加 4.1 アカウントのアクティベーション に説明追加 6.1 Windows エクスプローラによるリストア を追加 7.4.2 バックアップ起動条件の変更 に説明追加 7.7 その他の設定 を追加
第 1.2 版	2015 年 5 月 18 日	1.01	3 システム要件 に Windows server 2012 R2 を追加 8 オンラインドキュメント の記載内容及び URL を変更
第 2.0 版	2015 年 11 月 16 日	1.02	3 システム要件 に Windows 10 を追加、スマートデバイス、Web ブラウザのバージョンを更新
第 2.1 版	2016 年 1 月 19 日	1.02	4.1 アカウントのアクティベーション のパスワードポリシーを更新
第 2.2 版	2016 年 10 月 28 日		3 システム要件から Windows Server 2003 及び R2 を削除 8 オンラインドキュメントの URL を変更 リストア用 Web ブラウザのフッター情報を変更

### 本マニュアルのご利用にあたって

- 本マニュアルの内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き禁止されています。
- 本マニュアルで使用している情報及び画像は本文書執筆時点のもので、最新版の製品および製品サイトと文言やデザイン等が異なる場合があります。

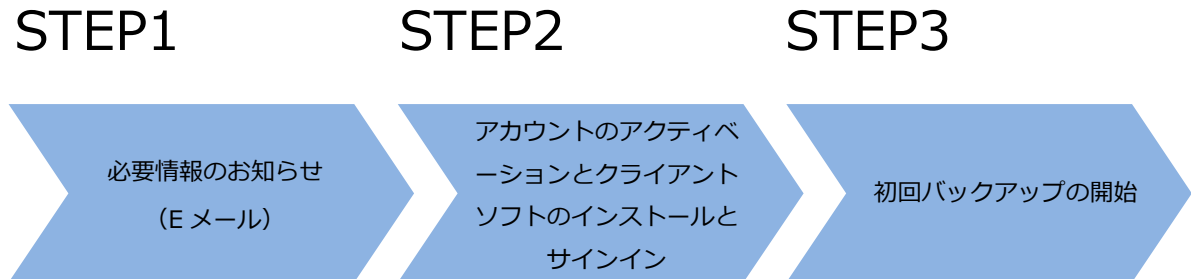
## 目次

1. 利用開始までの流れ.....	5
2. 事前確認事項 .....	6
3. システム要件 .....	7
4. 利用開始手順 .....	8
4.1 アカウントのアクティベーション.....	8
4.2 クライアントソフトのインストールとサインイン.....	10
4.3 初回バックアップの開始 .....	14
4.4 バックアップするファイルを選択して導入 .....	17
5. 利用中の操作 .....	19
5.1 クライアントソフトでのバックアップ運用状況のチェック .....	19
5.2 バックアップ対象フォルダ・ファイルの追加や削除 .....	23
5.3 外付けドライブに接続されたファイルの選択.....	26
5.4 ネットワークに接続されたファイルの選択 .....	27
6. リストア（フォルダ・ファイルの復元） .....	29
6.1 Windows エクスプローラを利用したリストア.....	29
6.2 クライアントソフトを利用したリストア .....	34
6.3 Web ブラウザを利用したリストア.....	39
7. 補足情報.....	49
7.1 プロキシ環境でお使いの場合.....	49
7.2 バックアップセット.....	50
7.2.1 標準バックアップセットの説明.....	50
7.2.2 バックアップセットの作成とルールの確認・編集.....	51
7.3 ローカルバックアップ .....	52
7.3.1 ローカルバックアップの動作 .....	52
7.3.2 ローカルバックアップの設定 .....	53
7.3.3 ローカルバックアップからのリストア .....	56
7.4 バックアップ動作条件の変更設定.....	59
7.4.1 標準のバックアップ起動条件 .....	59
7.4.2 バックアップ起動条件の変更 .....	60
7.5 コンピュータの追加と置換 .....	64

7.5.1	コンピュータの追加.....	64
7.5.2	コンピュータの置換.....	65
7.6	モバイルアプリケーション .....	67
7.6.1	モバイルアプリケーションのインストール .....	67
7.6.2	モバイルアプリケーションの利用方法 .....	70
7.7	その他の設定.....	78
7.7.1	パスワードの変更 .....	78
8.	オンラインドキュメント .....	80
9.	機能一覧.....	81

## 1. 利用開始までの流れ

本サービスのご利用開始までの流れは次の通りです。



- STEP1.** Eメールでアカウントのアクティベーションに必要な URL の情報をお知らせします。
- STEP2.** STEP1 で入手した情報で、アカウントのアクティベーションとクライアントソフトのインストールとサインインを行います。
- STEP3.** 初回バックアップが開始されます。  
開始する前に対象ファイルの指定等、詳細設定も可能です。

## 2. 事前確認事項

### 既存バックアップソフト等の確認と対処

他社のバックアップソフトが導入されている場合、本サービスがご利用できない場合がございます。その場合、他社のバックアップソフトのアンインストールをお願いいたします。

尚、次のバックアップソフトが導入されている場合、本サービスが正常に導入されない事が確認されておりますので、下記の個別対応をお願いいたします。

- McAfee Online Backup (マカフィー オンライン バックアップ)  
(対応)  
バックアップソフトのアンインストールと関連ファイルの削除をお願いいたします。
- McAfee Total Protection (マカフィー トータル プロテクション) 中のバックアップサービス  
(対応)  
当該ソフトのアンインストール、及び標準ではなくオンライン バックアップを除いたカスタムによる再インストールをお願いいたします。

### プロキシ環境でご利用の場合

自社のネットワークがプロキシ・サーバ経由でインターネットと接続されている場合、本サービスの導入時にプロキシの設定が必要となります。詳細は本マニュアルの「7.1 プロキシ環境でお使いの場合」を参照の上、プロキシの設定情報はシステム担当者にお問い合わせください。

### 3. システム要件

本サービスのシステム要件は以下の通りです。

対応 OS ※1	PC ※2	Microsoft Windows Vista (SP1/ SP2) Microsoft Windows 7 (SP1) Microsoft Windows 8 及び 8.1 Microsoft Windows 10
	サーバ ※2	<del>Windows Server 2003 及び R2</del> Windows Server 2008 及び R2 Windows Server 2012 及び R2
	スマート デバイス	iOS 7.0 以降 Android 2.2 以降 ※スマートデバイスからは閲覧・ダウンロードのみとなり、データバックアップは行えません。
CPU	対応 OS が快適に動作すること (推奨値 : Intel Pentium 4 1GHz 以上 ※3)	
メモリ	対応 OS が快適に動作すること (推奨値 : 512MB 以上 ※3)	
ハードディスク	1GB 以上の空き容量 ※3	
回線	ブロードバンド回線 (ADSL/CATV/FTTH 等) 、上り 128kbps 以上	
Web ブラウザ	Internet Explorer 最新 2 バージョン Google Chrome 最新バージョン Firefox 最新バージョン Safari 最新バージョン	

※1.OS 開発元にて OS サポートが終了した場合、本サービスでもサポート対象外となります。

※2.各 OS は全てのエディションおよび 32/64bit 版に対応しています。但し、Windows RT は除きます。

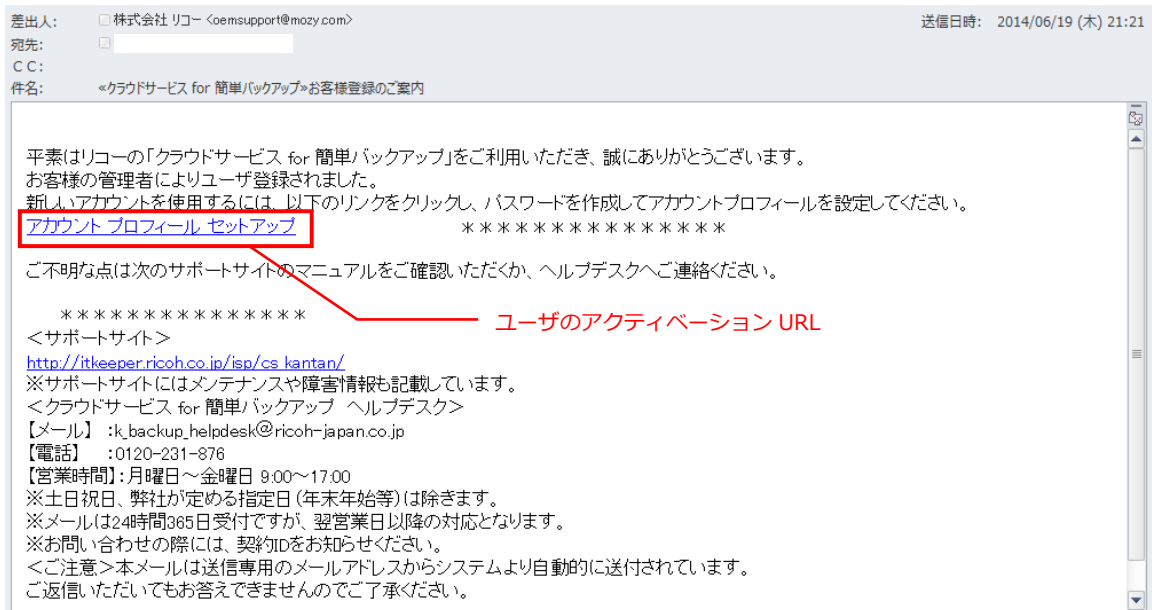
※3.スマートデバイスは除きます。

## 4. 利用開始手順

### 4.1 アカウントのアクティベーション

次の手順に従ってアカウントのアクティベーション（有効化）を行ってください。尚、サーバへの導入等でEメールが直接バックアップするデバイスで受け取れない場合、そのデバイスの管理者が受け取ってアカウントのアクティベーションを行ってください。また同一ユーザで2台目以降のコンピュータにクライアントソフトを導入する場合は【STEP1】～【STEP3】のアクティベーションの作業は必要ありません。詳しくは「7.5.1 コンピュータの追加」を参照ください。

**【STEP1】** お客様管理者がユーザの登録を行うと、登録されたメールアドレス宛に次のEメールが届きますので、「アカウント プロフィール セットアップ」をクリックしてください。





【STEP2】 Web ブラウザが起動し、アカウントのアクティベーション用の Web サイトを開きます。登録するパスワードを二回入力して、[アカウントのアクティベート]ボタンをクリックしてください（パスワードは半角 8 桁以上で、英字 大文字、英字 小文字、数字、特殊文字のうち 3 種類以上を含めてください）。

**RICOH**

アカウント アクティベーション

アカウント管理画により、Mozyバックアップ サービスのお客  
様用アカウントが作成されました。この世界最高のバック  
アップ サービスの使用するには、まずパスワードを作成して  
から、Mozyバックアップソフトウェアをダウンロードしてイン  
ストールしてください。

アカウント プロフィール

メールアドレス: ts\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*.com

パスワードは 8 文字以上でなければなりません。

.....

.....

アカウントのアクティベート

【STEP3】 MozyPro Backup ソフトウェアの画面が出たらアクティベーションの完了です。引き続きクライアントソフトのインストールとサインインを行うため、クライアントソフトのダウンロードを行います。表示された画面で、[ダウンロードする]ボタンをクリックしてください。

**RICOH**

MozyPro Backup ソフトウェア

コンピューターから選択したファイルを確実にバックアップし  
てください。

ダウンロードする (Version 2.26.3.393)

追加のダウンロード

のすべてのソフトウェア

## 4.2 クライアントソフトのインストールとサインイン

次の手順に従ってクライアントソフトをインストールしてください。

**【STEP4】** ファイルのダウンロード - セキュリティの警告ダイアログが表示されますので [実行(R)] をクリックしてください。



※ご利用のブラウザによって表示は異なります。またご利用のブラウザによって所定のフォルダにダウンロードされますので、そのファイルをダブルクリックして処理を続けてください。

**【STEP5】** ようこそ画面が表示されますので、[次へ(N)] ボタンをクリックしてください。



【STEP6】 表示内容を確認し、[同意する]ボタンをクリックしてください。



【STEP7】 クライアントソフトのインストールが開始されます。



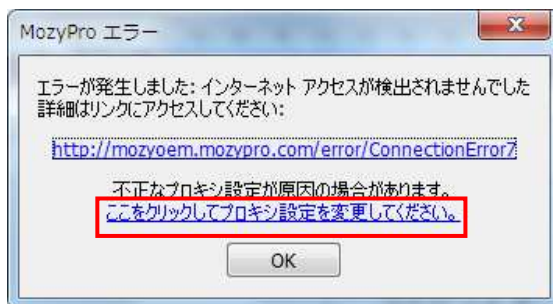
※数分で終了しますが、インターネット環境によって時間が掛かる場合があります。

クライアントソフトのインストール完了後、アカウントのアクティベーションで入力したパスワードを使用してサインインを行います。

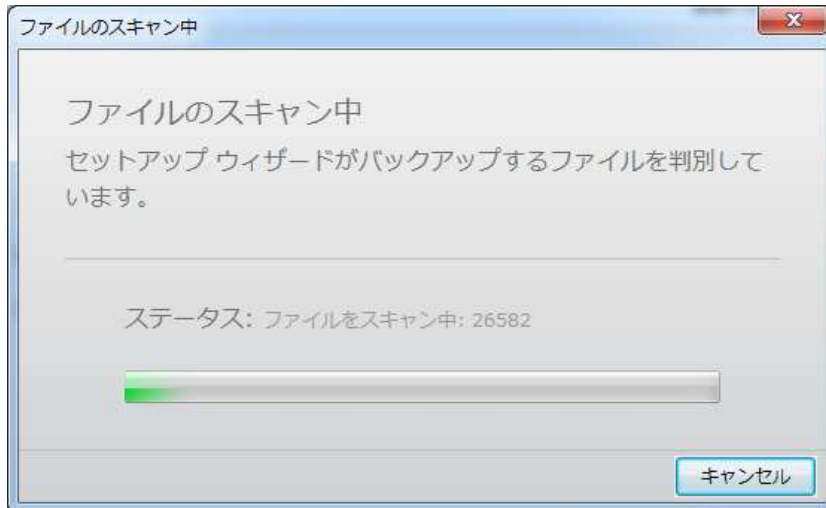
**【STEP8】** インストールが完了すると次のサインイン画面が表示されますので、お客様の「メールアドレス」とアカウントのアクティベートで入力した「パスワード」を入力し、[次へ(N)] ボタンをクリックしてください。



※プロキシ環境をご利用で次の表示が出た場合、「7.1 プロキシ環境でお使いの場合」を参照の上、プロキシの設定を行ってください。尚、この設定は初回バックアップの実行前に再度設定が必要となります。



サインインが完了すると、クライアントソフトは自動的にデバイス内の全てのファイルをスキャンし、ファイルの属性（ファイル名の拡張子）をチェックしてバックアップ対象ファイル（バックアップセット）を自動作成します。（バックアップセットの選択定義内容の確認や修正、ユーザ固有の定義方法は「7.2 バックアップセット」を参照ください）



※この処理はデバイスに存在するファイル数により数十秒から数分かかることがあります。

※このクライアントソフトのインストールが同一ユーザの二台目以降のデバイスの場合、表示される画面が異なります。詳しくは「7.5 コンピュータの追加と置換」を参照ください。

### 4.3 初回バックアップの開始

**【STEP9】** スキャンが完了すると下記のいずれかの画面が表示されます。表示内容によりいずれかの指定のステップに進んでください。

- ▶ サマリ画面が出た場合 …… [次へ(N)]をクリックして **【STEP10】** へ
- ▶ ファイルの選択画面が出た場合 …… **【STEP13】** へ

サマリ画面（バックアップ対象ファイル容量 ≤ 利用可能な容量）の場合



ファイルの選択画面（バックアップ対象ファイル容量 > 利用可能な容量）の場合



※外付けドライブのファイルやネットワークに接続されたファイル（NAS）は、このスキャンの対象になりません。これらのファイルをバックアップするには、初回バックアップの終了後に個別の設定が必要です。初回バックアップが終了したら

- ▶ 外付けドライブは「5.3 外付けドライブに接続されたファイルの選択」
- ▶ ネットワークドライブ（NAS）は「5.4 ネットワークに接続されたファイルの選択」

をそれぞれ参照ください。

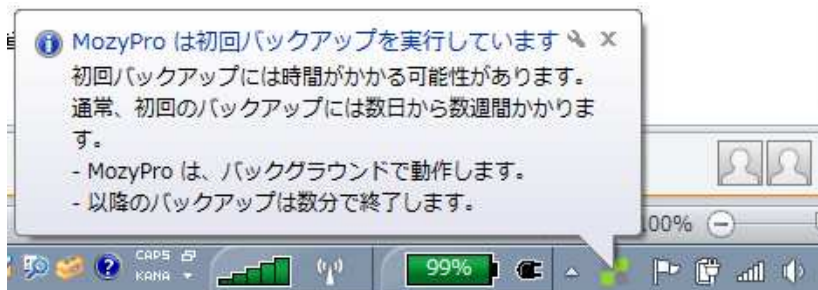
**【STEP10】** セットアップ完了画面が表示されますので、[完了(F)]ボタンをクリックしてください。初回バックアップが開始されます。



※自動選択されたファイルのいくつかを解除したい場合には[設定...]ボタンをクリック後、クライアントソフトの[バックアップセット]または[ファイルシステム]タブで選択を解除後、[OK]ボタンをクリックしてください。その後、初回バックアップが開始されます。

※プロキシ環境でお使いの場合はクライアントソフトにプロキシの再設定が必要です。[設定...]ボタンをクリック後、クライアントソフトの[オプション]»[ネットワーク]タブでプロキシ情報を設定後、[OK]ボタンをクリックしてください。その後、初回バックアップが開始されます。詳しくは「7.1 プロキシ環境でお使いの場合」を参照ください。

【STEP11】バックアップが開始されると下記のメッセージが表示されます。これは標準設定ではバックアップ進行中はステータス画面を表示しない設定になっているためです。ステータス画面の表示方法は「5.1 クライアントソフトでのバックアップ運用状況のチェック」を参照ください。



※初回バックアップは時間がかかる可能性があります。この間、ユーザの切り替えやログオフ、シャットダウンをしないようにしてください。また初回バックアップはバックグラウンドで稼働していますので、別のアプリケーションを実行してもバックアップは引き続き進行します。

【STEP12】初回バックアップが完了すると下記の画面が表示されます。





#### 4.4 バックアップするファイルを選択して導入

**【STEP13】** 選択したファイルサイズ合計が利用可能容量を超えないよう、バックアップしたい項目すべてにチェックを入れて、[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。



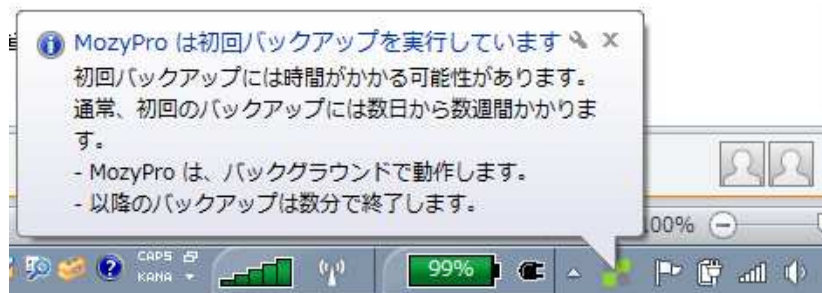
**【STEP14】** セットアップ完了画面が表示されますので、[完了(F)]ボタンをクリックしてください。初回バックアップが開始されます。



※プロキシ環境でお使いの場合はクライアントソフトにプロキシの再設定が必要です。[設定...] ボタンをクリック後、クライアントソフトの[オプション]»[ネットワーク]タブでプロキシ情報

を設定後、[OK]ボタンをクリックしてください。その後、初回バックアップが開始されます。  
詳しくは「7.1 プロキシ環境でお使いの場合」を参照ください。

**【STEP15】** バックアップが開始されると下記のメッセージが表示されます。これは標準設定ではバックアップ進行中はステータス画面を表示しない設定になっているためです。ステータス画面の表示方法は「5.1 クライアントソフトでのバックアップ運用状況のチェック」を参照してください。




※初回バックアップは時間がかかる可能性があります。この間、ユーザの切り替えやログオフ、シャットダウンをしないようにしてください。また初回バックアップはバックグラウンドで稼働していますので、別のアプリケーションを実行してもバックアップは引き続き進行します。

**【STEP16】** 初回バックアップが完了すると下記の画面が表示されます。



## 5. 利用中の操作

### 5.1 クライアントソフトでのバックアップ運用状況のチェック

Windows のタスクバーに表示されているクライアントソフトのアイコン  を右クリックして[ステータス(S)]を選択するとステータス画面が表示されます。



この例は、実行されたバックアップに関し、以下の情報を示しています。

- 直近の成功したバックアップは一時間前に実行された
- バックアップされたファイル数は合計 1682 個、容量は 761.4MB である
- 次回のバックアップ予定日時は「自動」で、毎日 5 回に設定されている

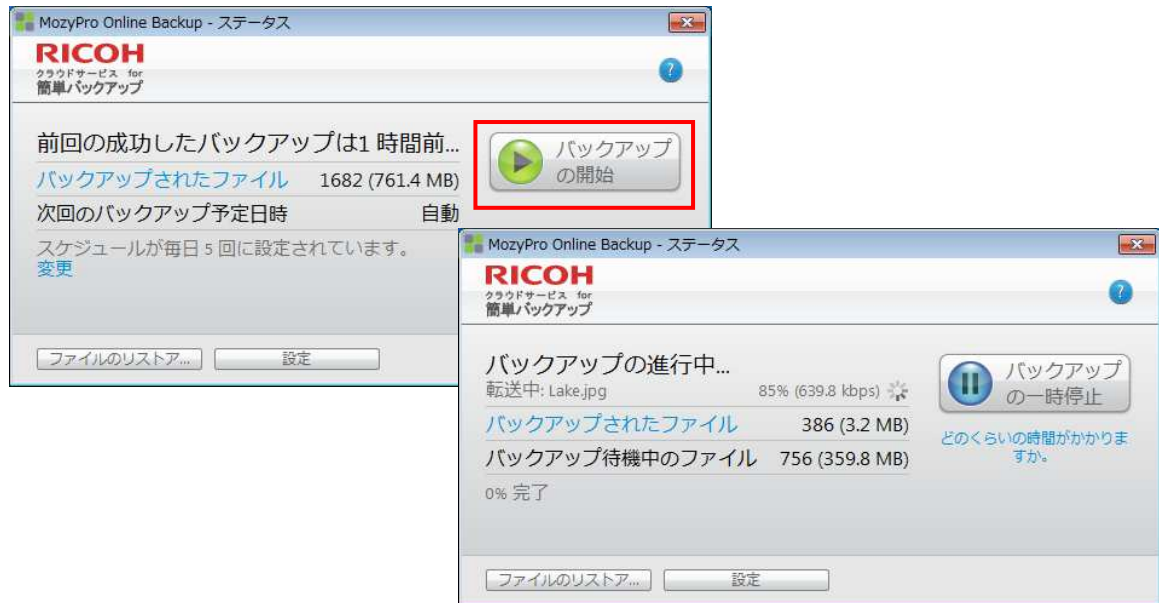
上記の情報から次のアクションとして、以下の操作を行う事ができます。

- ▶ 手動ですぐバックアップを開始する
- ▶ バックアップされたファイルの詳細を検索する
- ▶ 次のバックアップのスケジュールを変更する
- ▶ バックアップされたファイルをリストアする
- ▶ インストール時に設定されたバックアップ対象ファイル等を変更する

それぞれの操作方法について、以下に説明いたします。

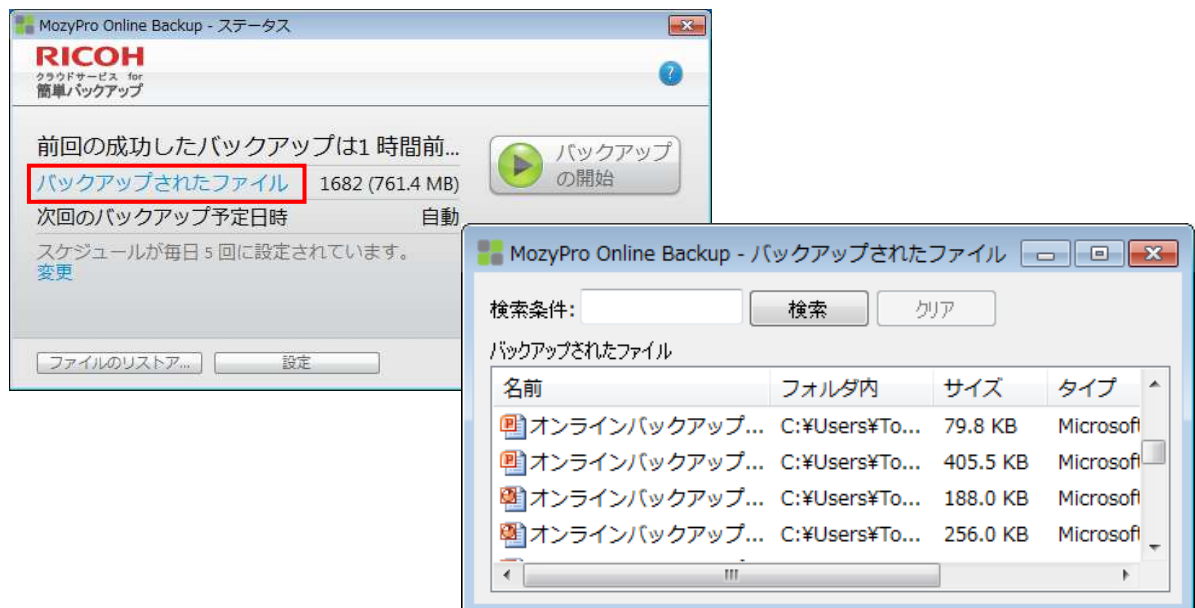
### 手動ですぐバックアップを開始する

ステータス画面の[▶バックアップの開始]ボタンをクリックしてください。バックアップが開始され、ステータス画面が「バックアップの進行中...」表示に変わります。



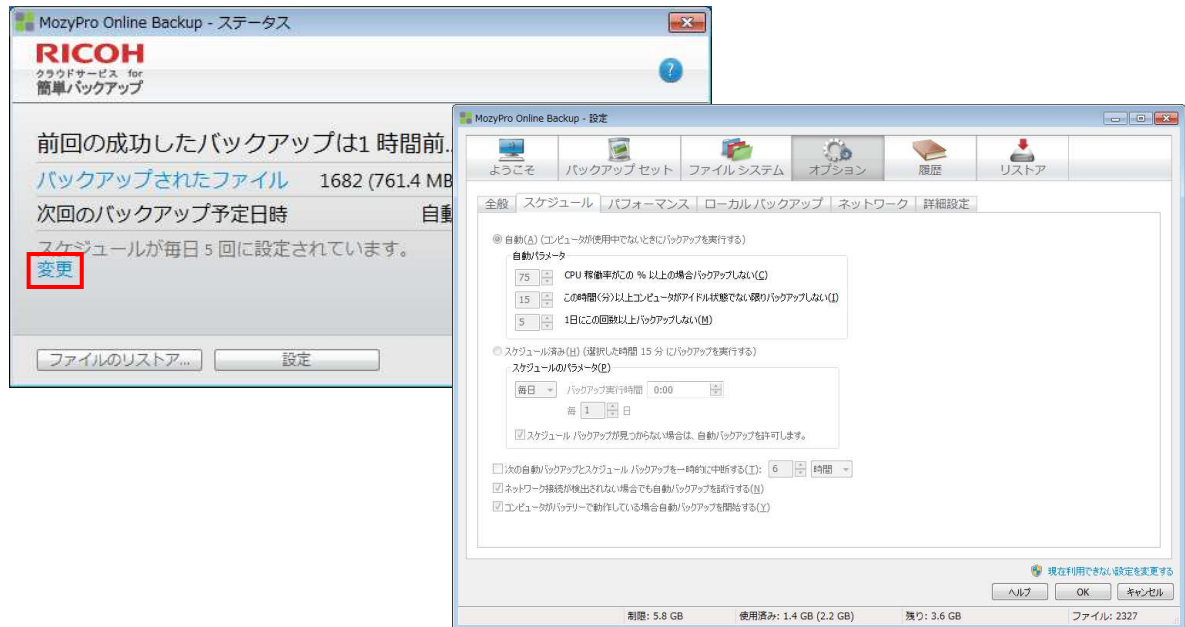
### バックアップされたファイルの詳細を検索する

ステータス画面の「バックアップされたファイル」をクリックしてください。サブウィンドウが開き、バックアップされたファイルの一覧が表示されます。特定のファイルを検索したい場合は、「検索条件:」に検索したいファイル名（一部でも可）を入力し、[検索]ボタンをクリックしてください。



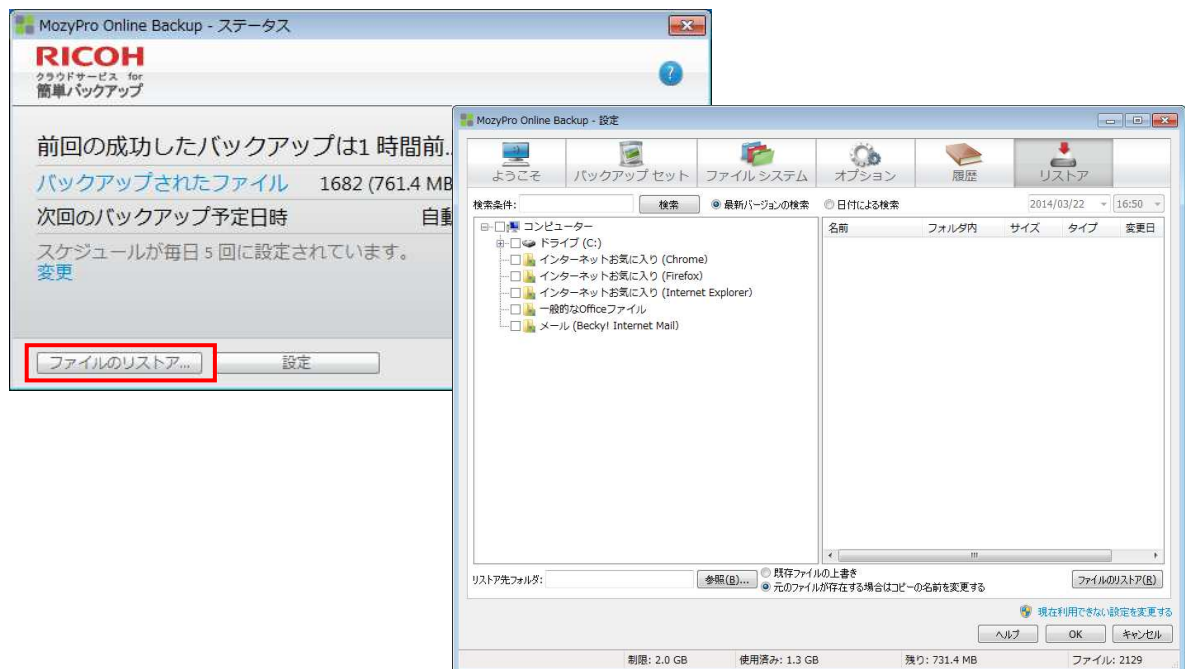
### 次のバックアップのスケジュールを変更する

ステータス画面の「変更」をクリックしてください。クライアントソフトの[オプション]»[スケジュール]設定画面が変更モードで表示されます。スケジュールの変更方法の詳細については「7.4 バックアップ動作条件の変更設定」を参照ください。



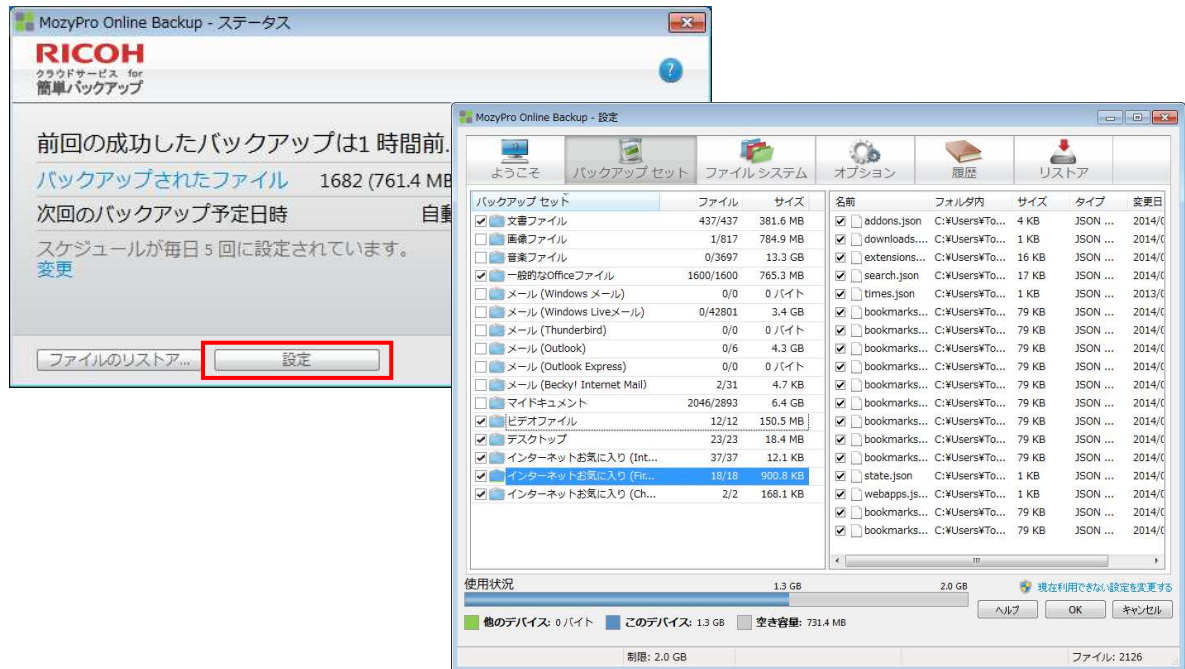
### バックアップされたファイルをリストアする

ステータス画面の[ファイルのリストア...]ボタンをクリックしてください。クライアントソフトの[リストア]設定画面が表示されます。リストア方法の詳細については「6.1 クライアントソフトを利用したリストア」を参照ください。



インストール時に設定されたバックアップ対象ファイル等を変更する

ステータス画面の[設定]ボタンをクリックしてください。クライアントソフトが起動しますので、必要な設定変更を実施してください。バックアップ対象ファイルの変更は「5.2 バックアップ対象フォルダ・ファイルの追加や削除」を参照ください。



## 5.2 バックアップ対象フォルダ・ファイルの追加や削除


バックアップ対象フォルダ・ファイルの変更方法は下記の二つの方法がありますが、クライアントソフトを利用する【方法 1】の方が一般的です。

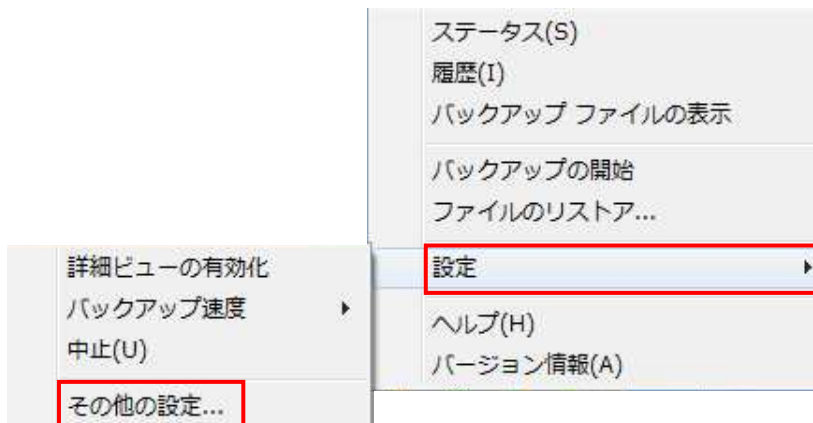
### 【方法 1】：クライアントソフトを利用する

**【STEP1】** 次のいずれかの方法でクライアントソフトを起動します。

- ▶ ステータス画面の[設定]ボタンをクリックします。



- ▶ Windows のタスクバーに表示されているクライアントソフトのアイコン  を右クリックして[設定]を選択、サブメニューから[その他の設定...]をクリックします。

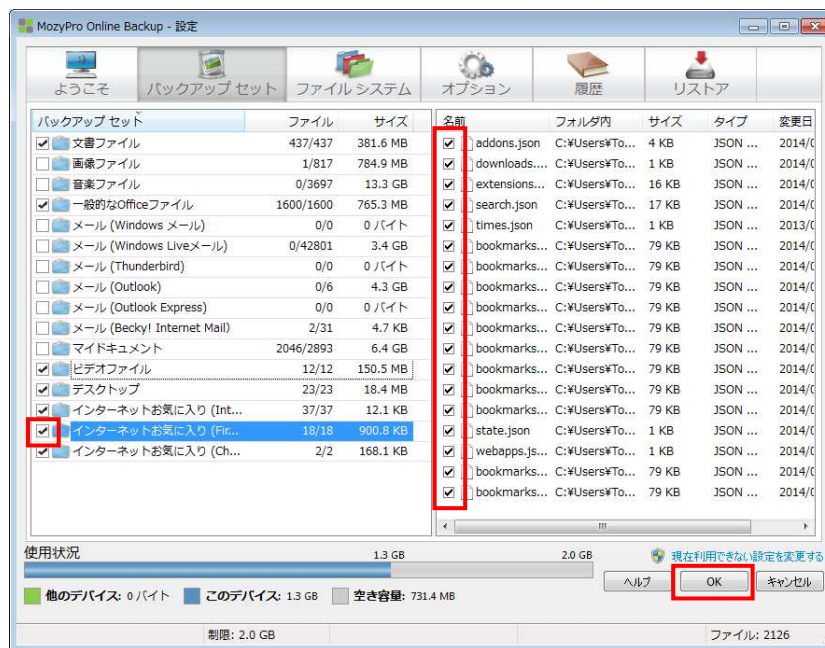


【STEP2】起動されたクライアントソフトの[バックアップセット]又は[ファイルシステム]タブをクリックしてください。左側画面で変更対象となるバックアップセット又はフォルダをクリックすると右側画面にその詳細ファイル情報が表示されます。変更のためには、

- ▶ 対象の追加にはチェックを入れてください。
- ▶ 対象の削除にはチェックを外してください。

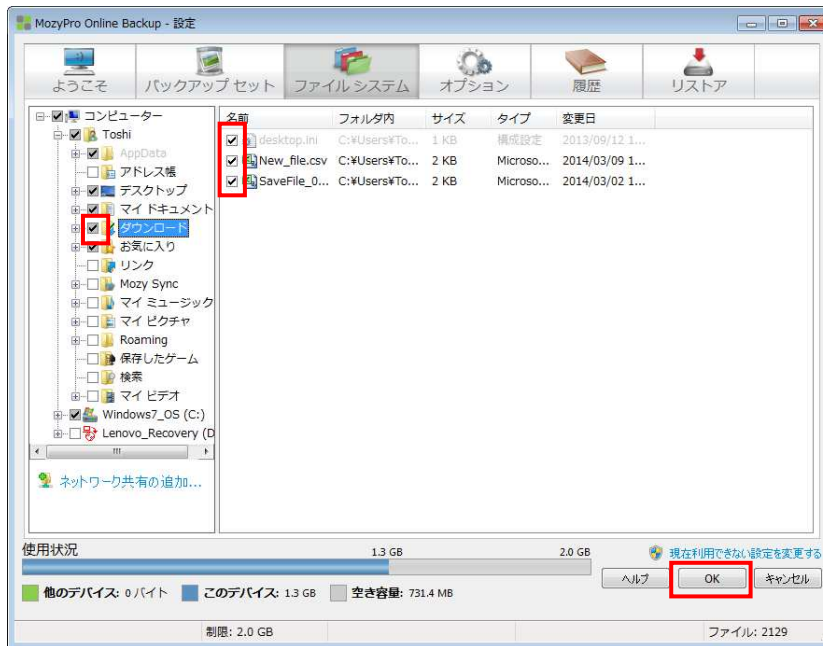
全ての変更が終了したら、[OK]ボタンをクリックしてください。次回のバックアップから設定が有効になります。

## バックアップセット





## ファイルシステム



※[ファイルシステム]タブの左側画面で特定のバックアップ対象フォルダをクリックすると、右側画面にそのフォルダ内のファイルが表示されますが、一部のファイルのチェックを外すと左側のフォルダのチェックボックスがグレーになります。この状態でこのフォルダに新規ファイルが追加された場合、そのファイルはバックアップの対象となります。

※バックアップ対象から削除してもバックアップしたファイルそのものが削除される訳ではなく、ファイルは履歴データとして 90 日間保存され、この間いつでもリストア可能です。

### **【方法 2】 : Windows のエクスプローラを利用して追加する**

エクスプローラでバックアップに追加したいファイルやフォルダを右クリックするとメニュー画面に[MozyPro バックアップに追加する]が表示されます。この項目をクリックするとそのファイルやフォルダがバックアップの対象に登録されます。次回のバックアップから設定が有効になります。

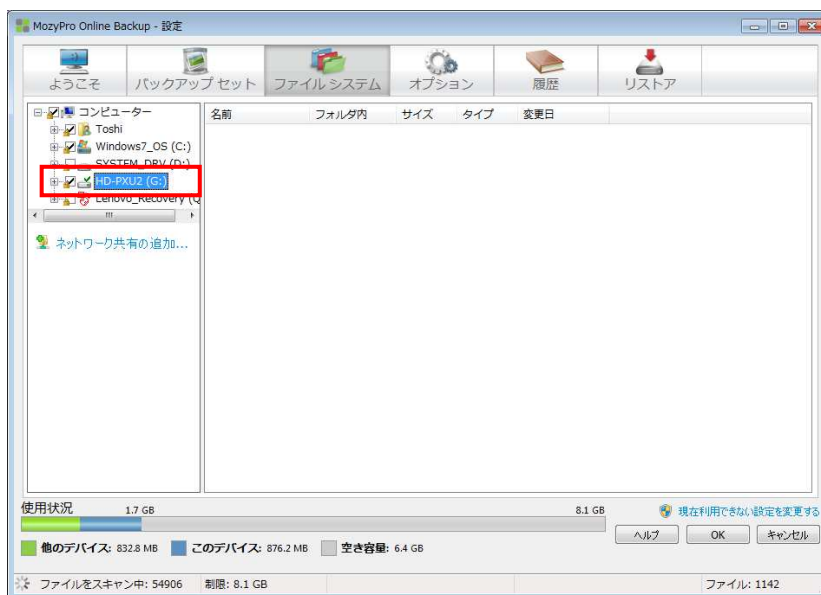


### 5.3 外付けドライブに接続されたファイルの選択

クライアントソフトは Windows ではオペレーティングシステムにより固定ディスクまたはマウントされたディスクと認識されたドライブ（直接接続された外付けドライブを含む）のみ動作します。フラッシュドライブ、サムドライブ、またはメモリースティックタイプのドライブでは動作することができません。

複数の外付けドライブをバックアップする場合、それぞれのドライブが識別可能なドライブ名、または文字を使用するようにしてください。必要な場合、外付けドライブのドライブ名、または文字を変更できます。ドライブ名、または文字を変更した後、クライアントソフトは、ファイルパス、およびほかのドライブ情報をアップデートします。

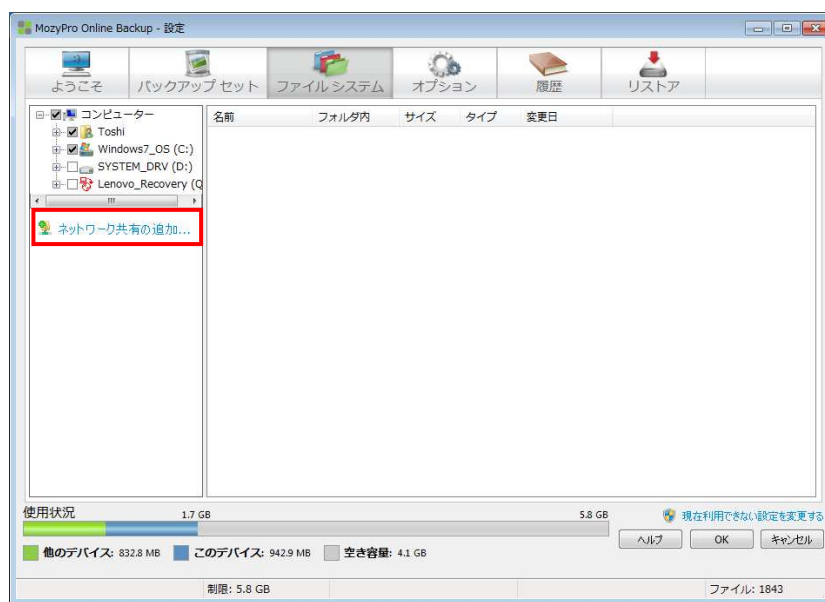
外付けドライブが認識されれば、クライアントソフトは[ファイルシステム]タブで、その存在を表示します。バックアップ対象ファイルの選択方法は固定ディスクと同じですので「5.2 バックアップ対象フォルダ・ファイルの追加や削除」を参照ください。



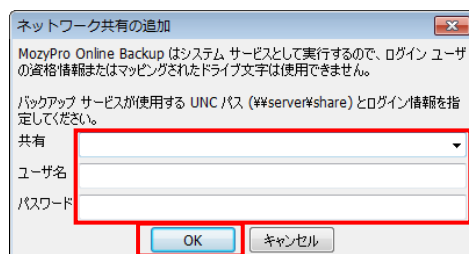
## 5.4 ネットワークに接続されたファイルの選択

ネットワークに接続されたドライブ（NAS）のバックアップを実行するには、このドライブにアクセス可能なデバイスにインストールされたクライアントソフトから NAS 内のフォルダやファイルを指定する必要があります。どのデバイスを利用するかは、NAS の運用方法によって変わりますので、お使いの環境によって最適なデバイスを選択してください。

**【STEP1】** 利用するデバイスが決まりましたらインストールされたクライアントソフトを起動し、[ファイルシステム]タブをクリックしてください。左側画面の最後に表示される[ネットワーク共有の追加...]をクリックします。

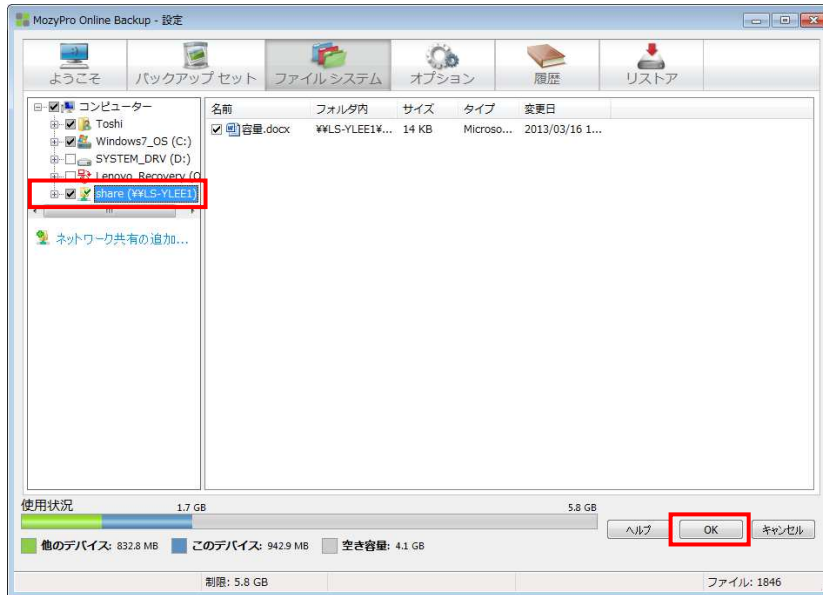


**【STEP2】** ネットワーク共有の追加ウィンドウが開きますので、バックアップしたいネットワーク・デバイスの UNC パスを入力してください。そのデバイスのアクセスにパスワードが設定されている場合はユーザ名とパスワードも入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。



※ネットワーク・デバイスの UNC パスやユーザ名、パスワードが分からない場合、システム担当者にお問い合わせください。

【STEP3】ネットワーク・デバイスが認識されると、クライアントソフトは[ファイルシステム]タブで、その存在を表示します。バックアップ対象ファイルの選択方法は固定ディスクと同じですので「5.2 バックアップ対象フォルダ・ファイルの追加や削除」を参照ください。



※ネットワーク・デバイスに大量のフォルダ・ファイルが存在する場合、クライアントソフトの起動に時間がかかる場合があります。

※このネットワーク・デバイスを切り離したい場合は、該当するネットワークドライブを右クリックし、[ネットワーク共有の削除]をクリックしてください。

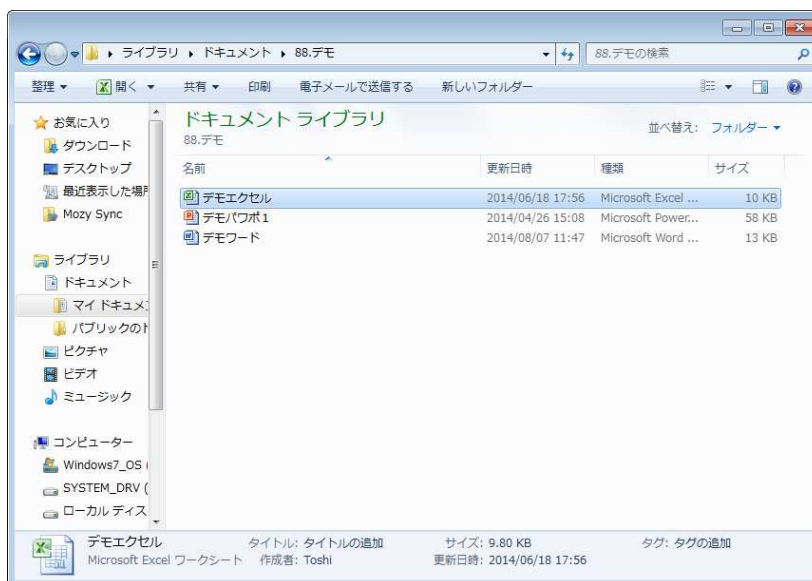
## 6. リストア（フォルダ・ファイルの復元）

本サービスではバックアップしたフォルダやファイルをリストア（復元）するには、三種類の方法が提供されます。最も簡単なリストア方法は Windows のエクスプローラを使う方法です。バックアップと異なり、リストアはデバイスの破損や入れ替えによりバックアップを丸ごと元に戻す時以外は、ファイル単位で処理する事が多いため、クライアントソフトを起動せずともエクスプローラで右クリックする事でリストアに必要な機能が呼び出されます。またリストアするファイル名が不明な場合や、フォルダ単位でリストアしたい場合等の場合は、検索機能を備えたクライアントソフトによるリストアが利用できます。しかし、リストアするデバイスが利用できない環境（バックアップしたデバイスの破損、別のデバイスへのリストアの必要性等）を想定し、Web ブラウザを利用したリストアという方法も提供されます。以下、それぞれの方法について説明いたします。

### 6.1 Windows エクスプローラを利用したリストア

操作ミス等によりファイルを誤って更新・保存してしまった、削除して更にはゴミ箱からも削除してしまった、また更新中にエラーが発生し復旧不可能になった等の場合には、このリストア方法を利用する事によって、簡単に元のファイルをリストアする事ができます。操作方法もきわめて単純で、まるで Windows の機能の一部のような操作感で対象ファイルのリストアが可能です。

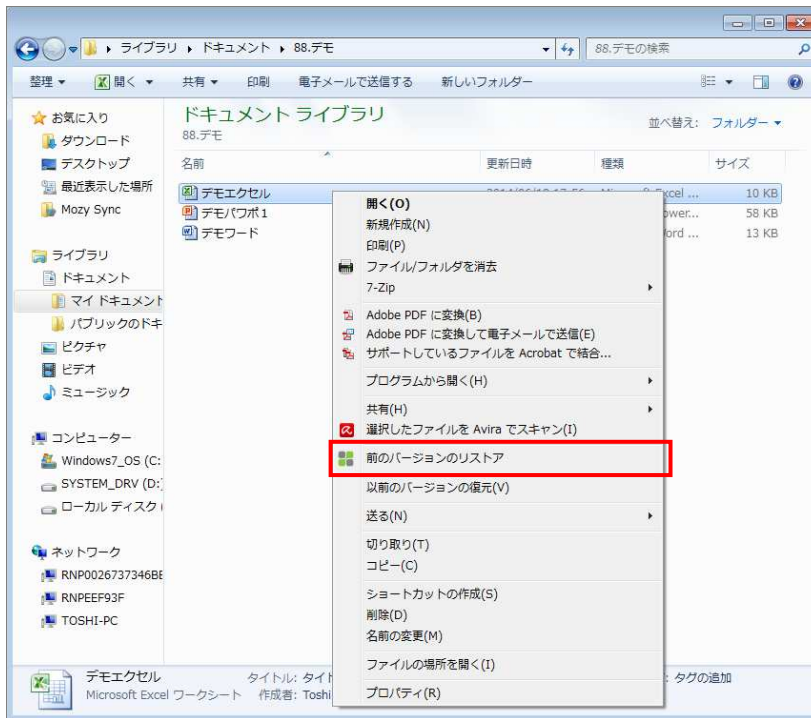
**【STEP1】** Windows のエクスプローラでリストアしたいファイルが存在する（した）フォルダを開きます。



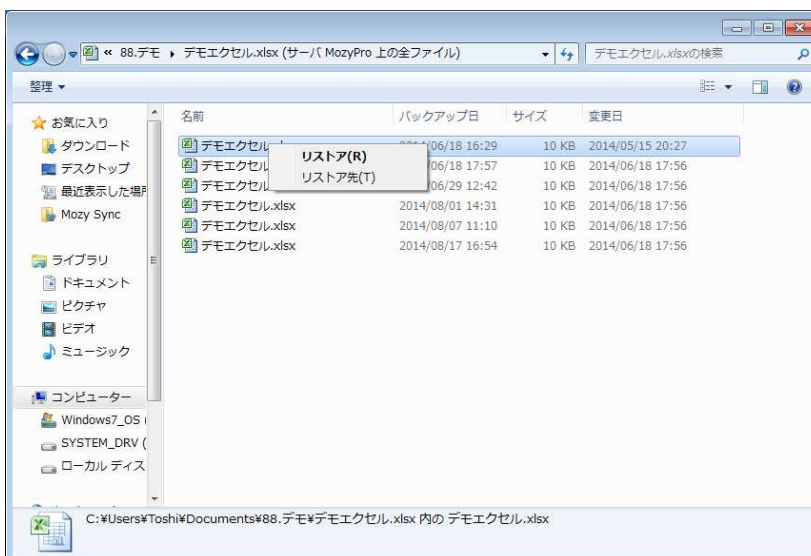
【STEP2】 次のいずれかの方法で、リストアしたいファイルの履歴を表示します。

- ▶ 存在するファイルの履歴を表示する場合 …… 【STEP3】 へ
- ▶ 存在しないファイルの履歴を表示する場合 …… 【STEP5】 へ

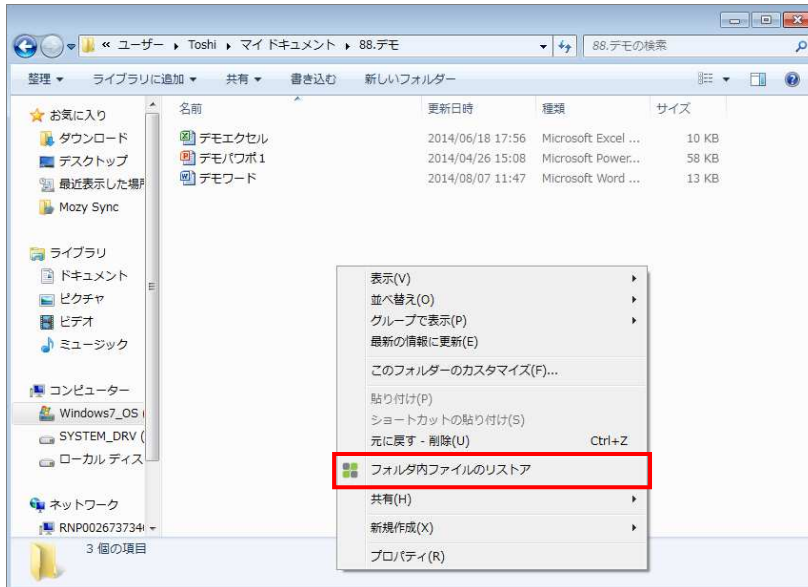
【STEP3】対象ファイルを右クリックし、表示されたメニューから[前のバージョンのリストア]を選択します。



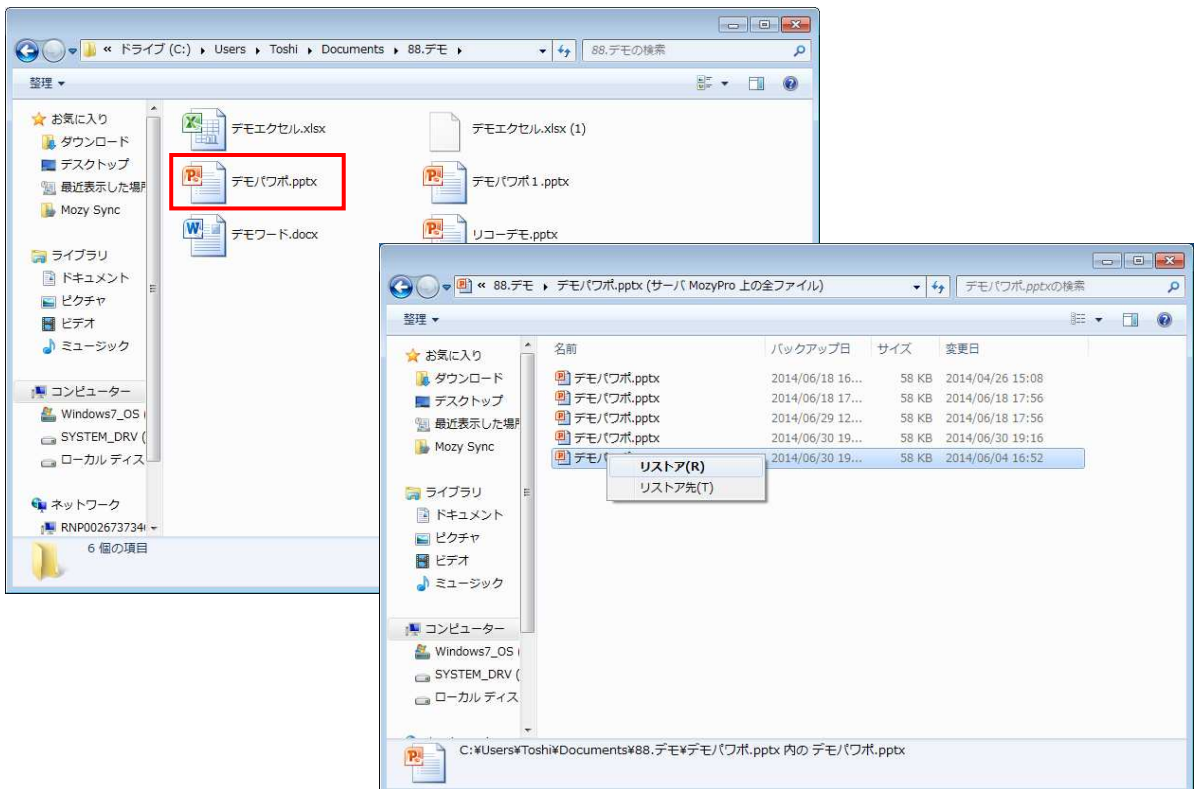
【STEP4】 このファイルがバックアップされた履歴が日付順にエクスプローラで表示されますので、リストアしたい日時のものを選択します。この後【STEP7】へ進んでください。



**【STEP5】** エクスプローラ・ウィンドウの空いた場所を右クリックし、表示されたメニューから[フォルダ内ファイルのリストア]を選択します。



**【STEP6】** このフォルダ内でバックアップされたファイルの一覧が、存在しないファイルを含めてエクスプローラで表示されます。この例では「デモパワポ」は存在しないファイルですので、これをダブルクリックすると「デモパワポ」のバックアップされた履歴が日付順にエクスプローラで表示されますので、リストアしたい日時のものを選択します。



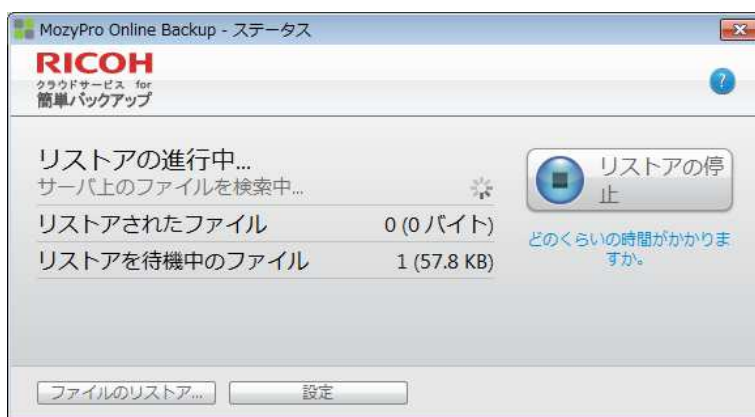
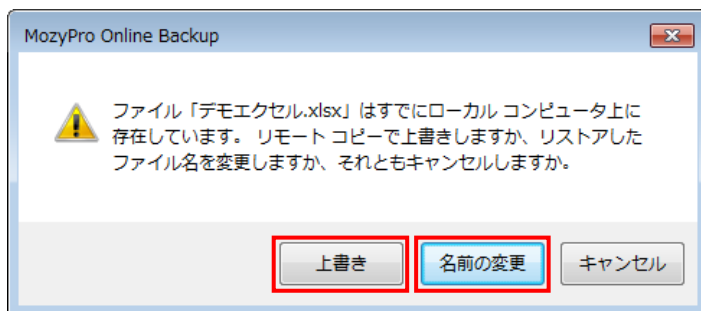
※フォルダを開かずとも、そのフォルダが表示されたエクスプローラで該当フォルダを右クリック（この例では「88.デモ」フォルダ）し、表示されたメニューから[フォルダ内ファイルのリストア]を選択しても、このフォルダ内でバックアップされたファイルの一覧が、存在しないファイルを含めてエクスプローラで表示されます。

**【STEP7】** 次のいずれかの方法でリストア場所を指定します。

- ▶ このフォルダ内にリストアする場合                      . . . **【STEP8】** へ
- ▶ このフォルダ以外の場所にリストアする場合            . . . **【STEP10】** へ

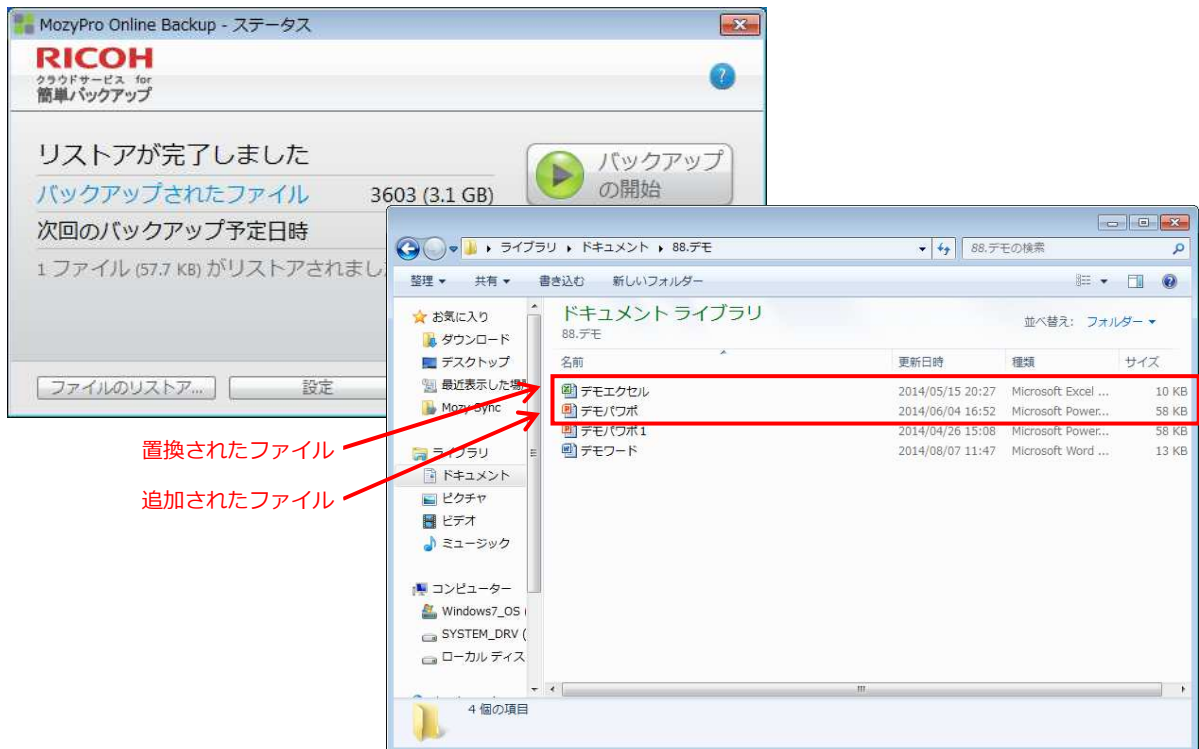
このフォルダ内にリストアする場合

**【STEP8】** 選択したファイルを右クリックして[リストア(R)]をクリックするかダブルクリックすると、このフォルダ内へのリストアが開始されますが、存在するファイルの場合、ファイルを置き換えるかどうかの確認画面が表示されますので、[上書き]か[名前の変更]をクリックしてください（[名前の変更]の場合、元のファイル名の最後に括弧付きの連番が振られます）。この後、リストアが開始されます。



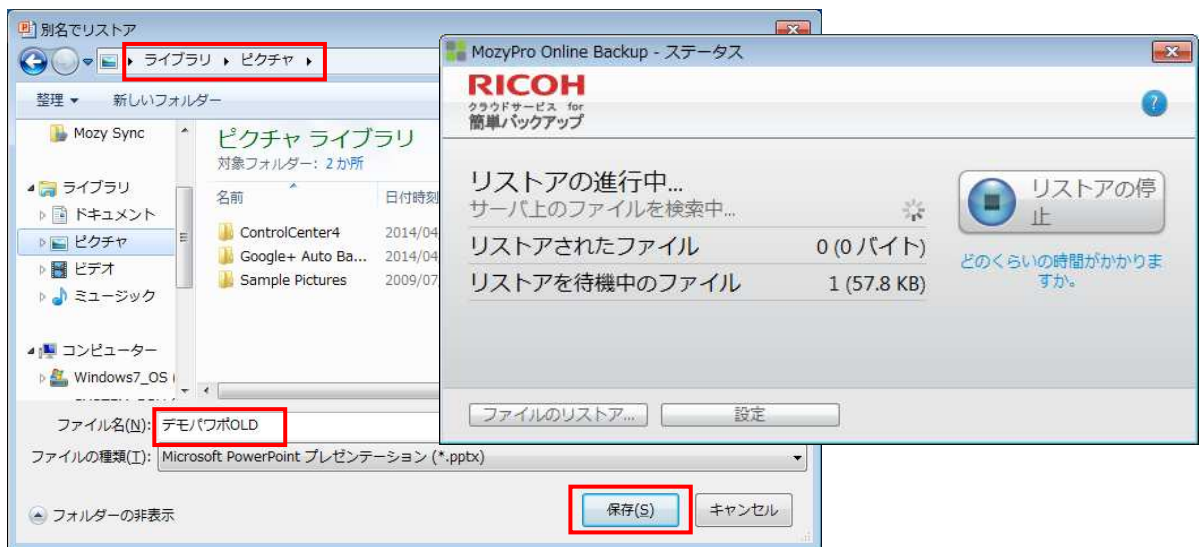


【STEP9】 リストアが完了し、フォルダ内に該当ファイルが復元されます。置換・追加されたファイルの「更新日時」がリストア対象となった履歴の「変更日」の内容が反映されている事を確認してください。

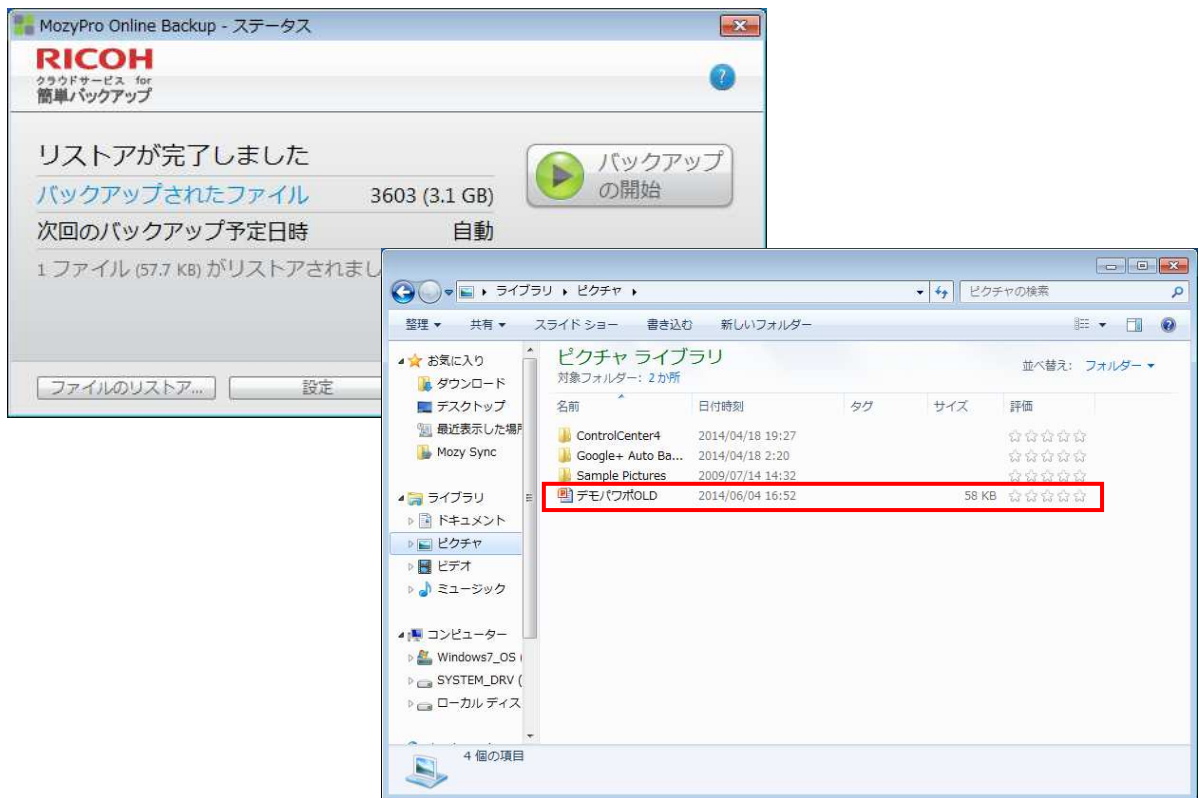


このフォルダ以外の場所にリストアする場合

【STEP10】 リストア先に別フォルダを指定したい場合は、【STEP4】 【STEP6】 で対象ファイルを右クリック後、[リストア先(T)]をクリックします。そうするとファイル名とリストア先を指定するエクスプローラ画面が開きますので、ファイル名を変更する場合は、新しいファイル名を入力し、保存する場所を指定して[保存(S)]をクリックするとリストアが開始されます。



【STEP11】 リストアが完了し、指定したフォルダ内に該当ファイルが復元されます。

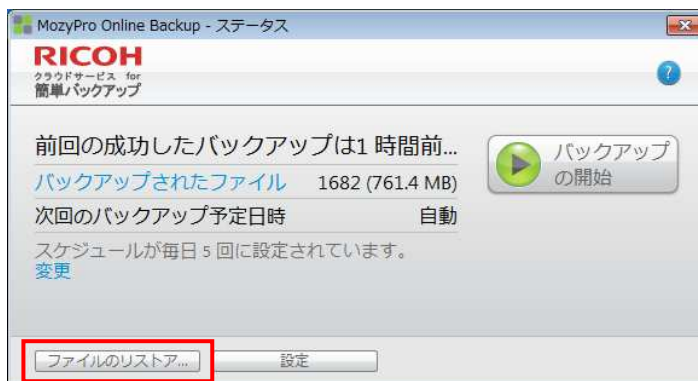


## 6.2 クライアントソフトを利用したリストア


この方法はリストアすべきフォルダ名やファイル名を忘れてしまった場合や、ある程度まとまったフォルダ単位のリストアを行う場合で、バックアップしたデバイスのフォルダ構造があらかじめわかっている場合に便利な方法です。

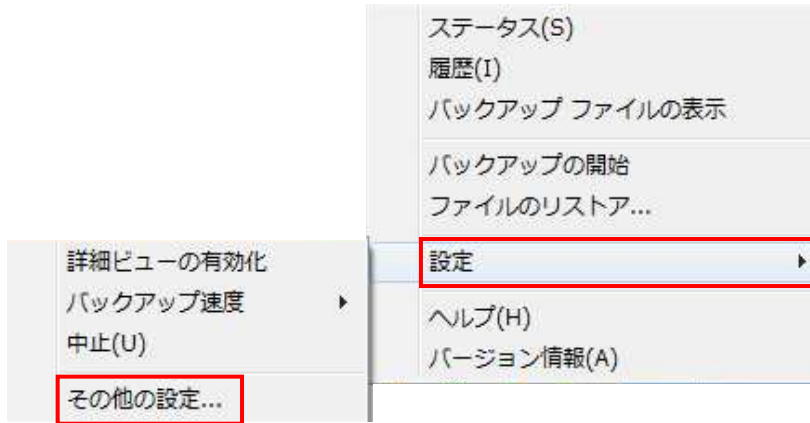
【STEP1】 次のいずれかの方法でクライアントソフトを起動します。

- ▶ ステータス画面の[ファイルのリストア...]ボタンをクリックします。



※ステータス画面の表示方法については「5.1 クライアントソフトでのバックアップ運用状況のチェック」を参照ください。

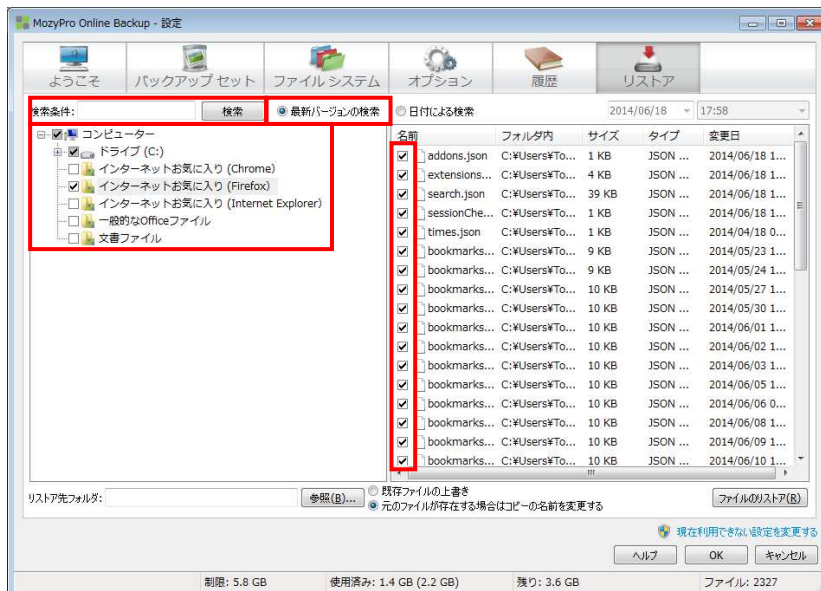
- ▶ Windows のタスクバーに表示されているクライアントソフトのアイコン  を右クリックして[設定]を選択、サブメニューから[その他の設定...]をクリックします。



**【STEP2】** クライアントソフトの[リストア]タブをクリックし、リストアすべきファイルが保管されているフォルダをエクスプローラ表示の左側画面から選択します。フォルダの選択に際し、リストア対象ファイルの世代によって、下記の二つのケースに分かれます。

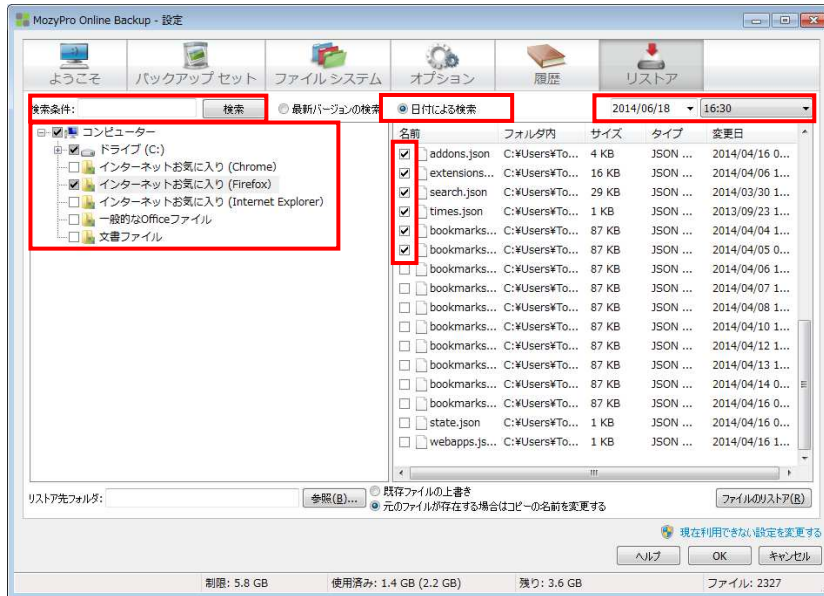
- ▶ 最新のファイルやフォルダのリストア

「最新バージョンの検索」が選択されている事を確認し、検索機能や左側画面のフォルダのエクスプローラ表示を使い、リストアしたいファイルを探します。



▶ 過去のファイルやフォルダのリストア

「日付による検索」を選択し、月日と時間を指定し、検索機能や左側画面のフォルダのエクスペローラ表示を使い、リストアしたいファイルを探します。



右側画面で対象ファイルが見つかったら、そのファイル名の左側をチェックします。

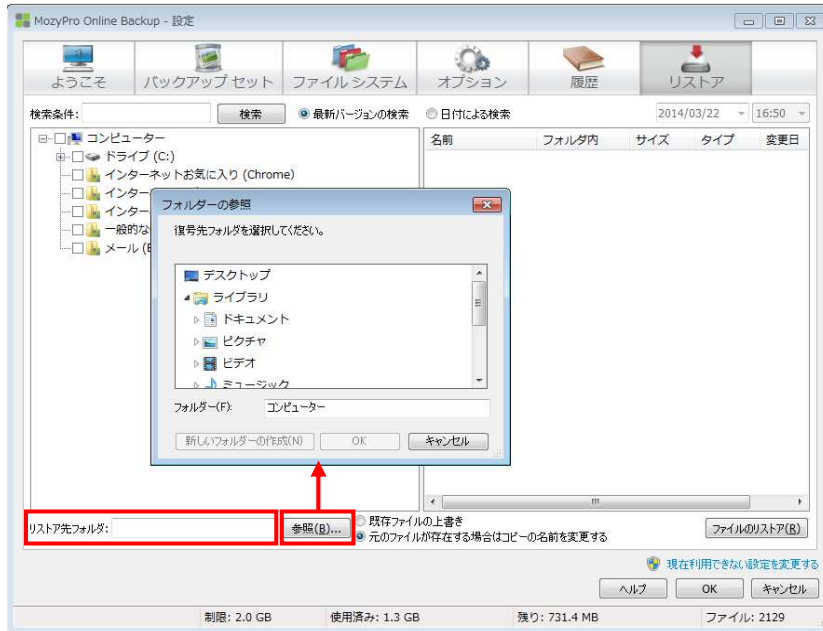
※最新バージョンの検索とは、最新バックアップの検索という意味ではなく、削除されたファイル名を含む同一ファイル名の最新版のファイルを検索する機能です。

※検索機能はあいまい検索機能を持ち、入力された検索条件の文字列を含むファイル名の一覧を右側画面に表示します。

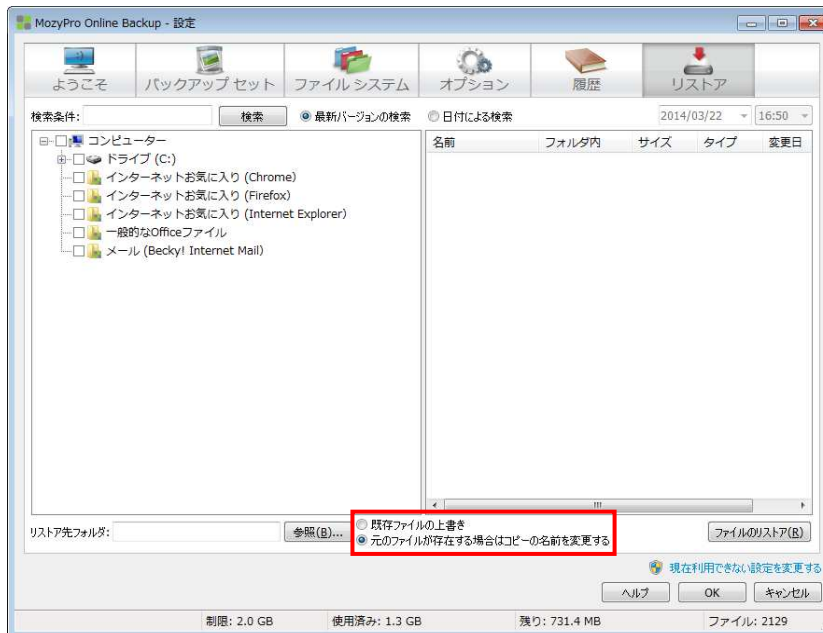
※「7.5.2 コンピュータの置換」で、新しいコンピュータに元のコンピュータのファイルを完全復元させたい場合は、「最新バージョンの検索」を選択し、リストア先のフォルダに対応するバックアップされたフォルダをチェックする事により実現可能です。

**【STEP3】** リストア先とリストアするファイルが存在する場合のオプションを指定します

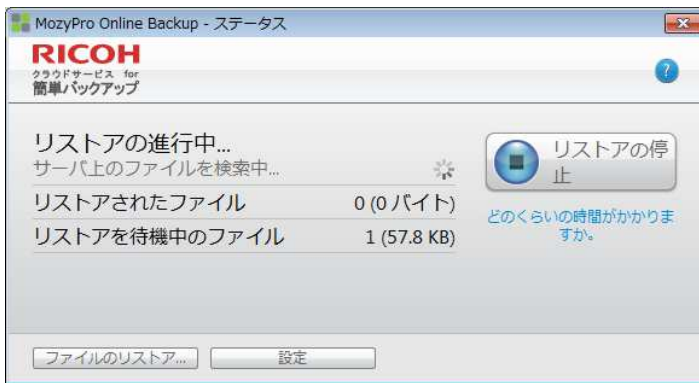
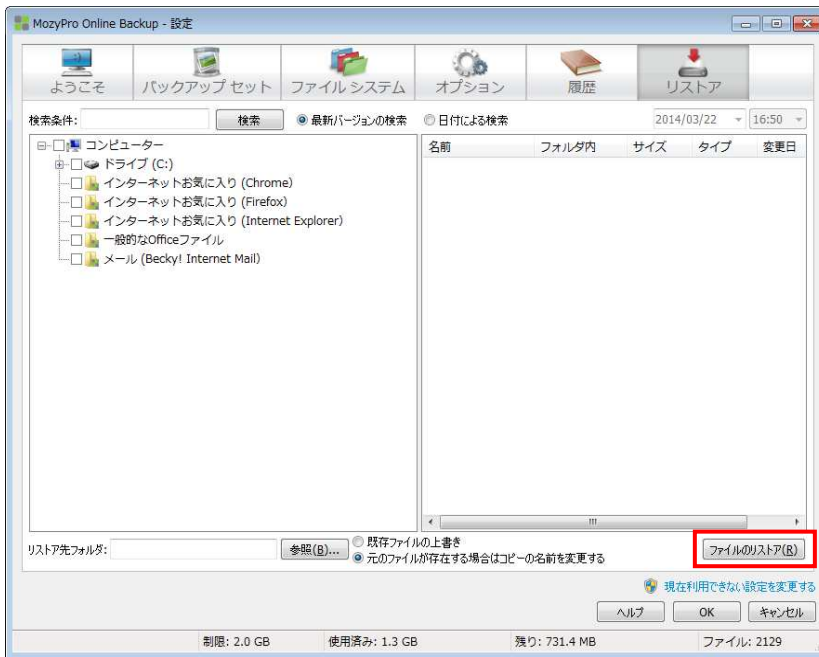
- リストア先フォルダの指定
  - ▶ 元のフォルダにリストアしたい場合は「リストア先フォルダ:」を空白にします。
  - ▶ リストア先を指定したい場合は[参照(B)...]ボタンをクリックし、フォルダの参照画面でリストアしたいフォルダを指定します。



- リストアするファイルが存在する場合、下記のオプションのいずれかを指定します。
  - ▶ 「既存ファイルの上書き」を選択します。
  - ▶ 「元のファイルが存在する場合はコピーの名前を変更する」を選択します。

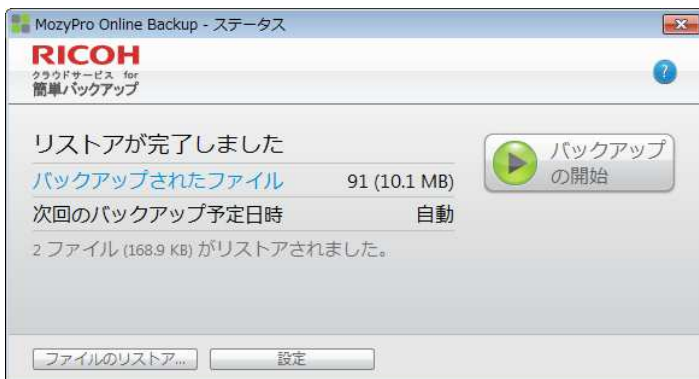


**[STEP4]** [ファイルのリストア(R)]ボタンをクリックするとリストアが起動されます。



※リストアの場合、バックアップと異なりステータス画面は常に表示されます。

**[STEP5]** リストアが完了すると下記の画面が表示されます。




### 6.3 Web ブラウザを利用したリストア

Web ブラウザが利用できる環境であれば、どこからでも、どんなデバイスへも自分のバックアップしたファイルをリストアすることができます。Web ブラウザを利用したリストアは、Windows のダウンロード機能を使ってリストアを行います。

**【STEP1】** ブラウザで以下のバックアップサイトにアクセスし、クライアントソフトのサインイン時に指定したメールアドレスを「電子メール」に、パスワードを「パスワード」に入力し、[ログイン]ボタンをクリックしてください。

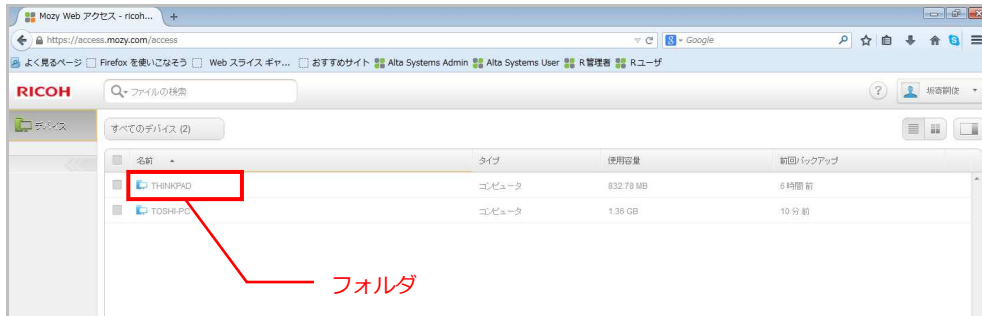
<https://ricoh.mozypro.com/login/user> (ユーザ用の URL となります)



**【STEP2】** 本サービスを利用するお客様の全てのコンピュータの管理状況が表示されますので、対象となるデバイスの「操作」項目のファイルのリストアアイコンをクリックしてください。



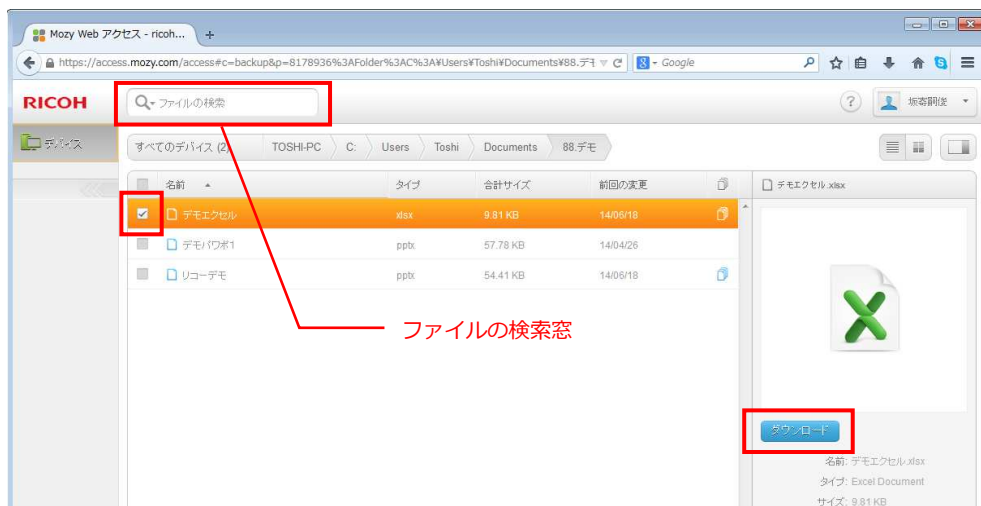
【STEP3】フォルダをクリックしてドリルダウンし、リストアすべきファイルが保管されているフォルダを選択します。そうするとバックアップされたファイル一覧が表示されます。



【STEP4】ファイル名がわかる場合は「ファイルの検索」機能も利用可能です。対象ファイルの選択は、リストア対象ファイルの世代によって、下記の二つのケースに分かれます。

▶ 最新のファイルやフォルダのリストア

リストアしたいファイルが見つかりましたら、そのファイル名やフォルダ名の左側をチェックし、[ダウンロード]ボタンをクリックするとダウンロードが開始されます。



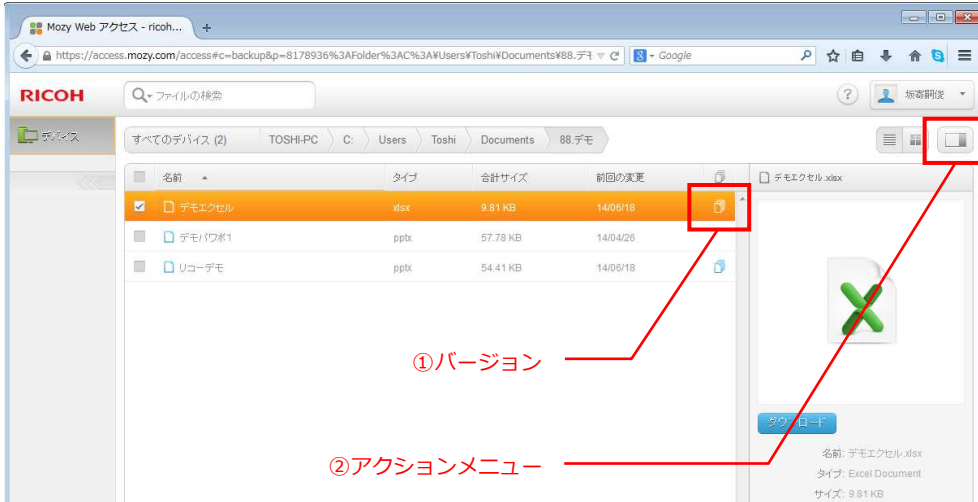
※ダウンロード先は、利用するブラウザによって異なります。




▶ 過去のファイルやフォルダのリストア

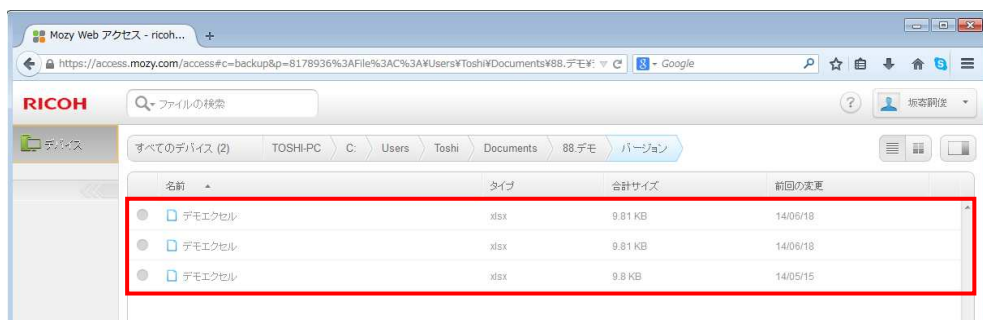
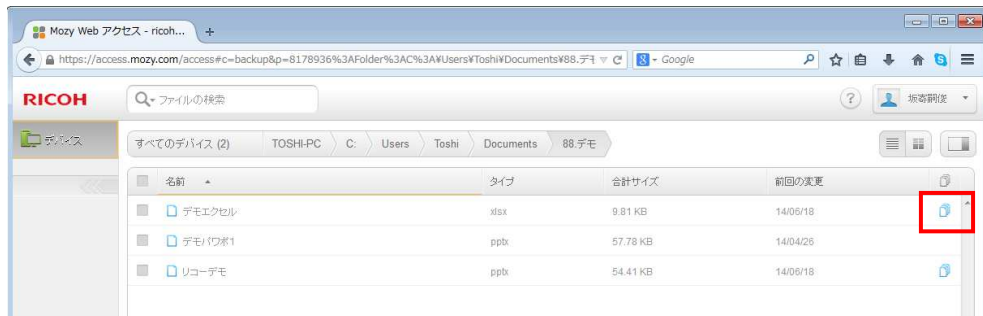
リストア対象ファイルを検索する方法が二通り用意されています。

- ① バージョンによる検索・・・同一ファイル名の全ての履歴を検索します。
- ② アクションメニューによる検索・・・日付指定／削除されたファイルを検索します。



① バージョンによる検索


同一名のファイルが複数存在した場合、「バージョン」のアイコン  がファイル項目の右に表示されます。それをクリックすると全ての日付の同一名ファイルが表示されますので、該当するファイル名の左側をチェックし、[ダウンロード]ボタンをクリックするとダウンロードが開始されます。

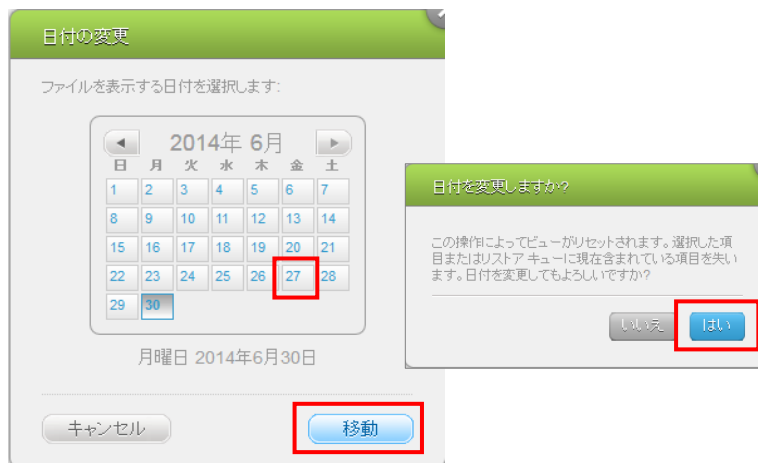


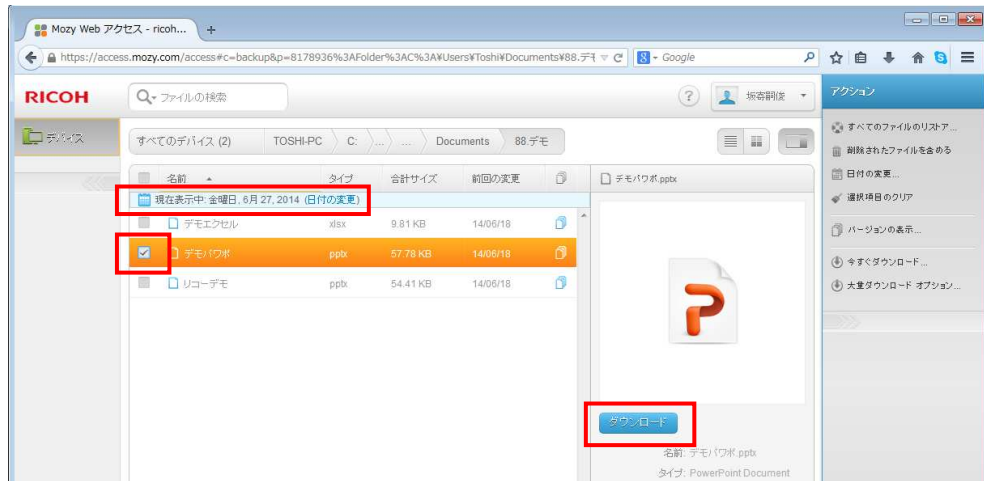


② アクションメニューによる検索



日付による検索

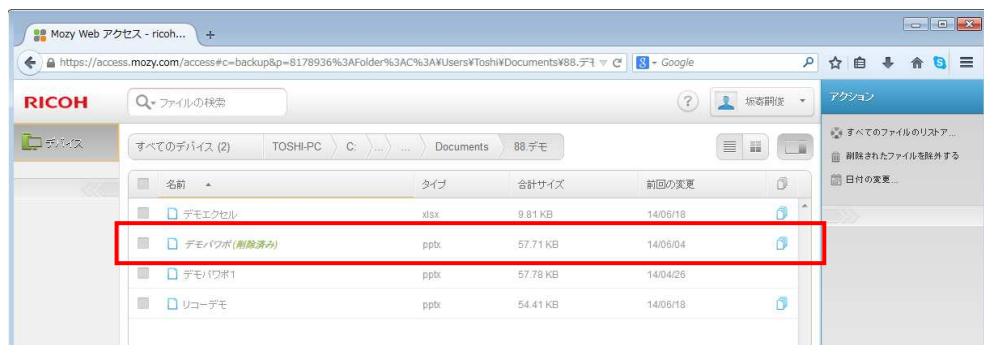
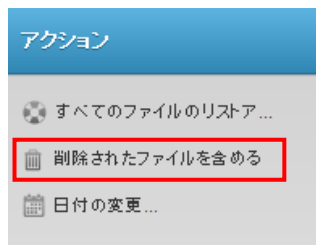
画面右上の「アクションメニュー」のアイコンをクリックすると、下記のメニューが画面の右側にスライドイン表示されます。日付による検索には[日付の変更...]をクリックしてください。そうすると日付の変更画面が表示されます。該当の日付をクリックして[移動]ボタンをクリックすると日付を変更する確認画面が現れます。[はい]をクリックすると、その日付時点のファイル情報が表示されますので、そこから該当するファイル名の左側をチェックし、[ダウンロード]ボタンをクリックするとダウンロードが開始されます。

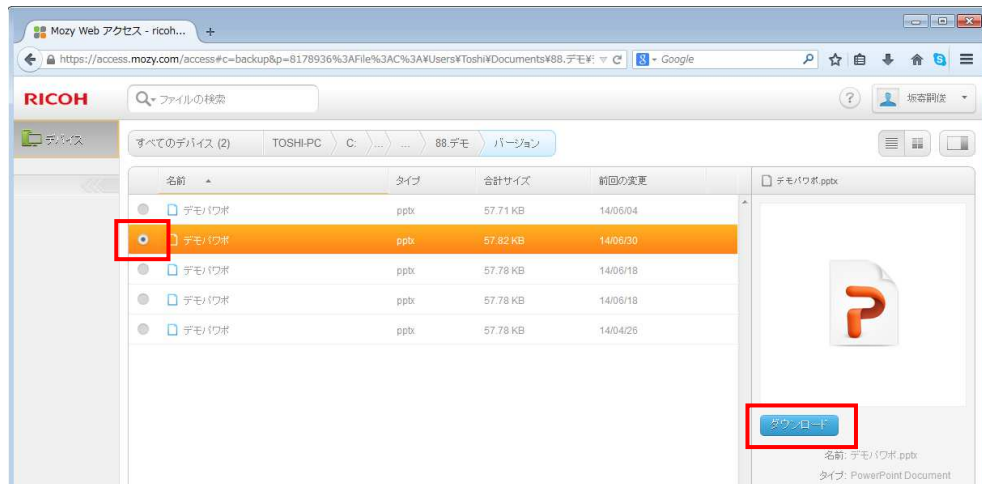




### 削除されたファイルの検索

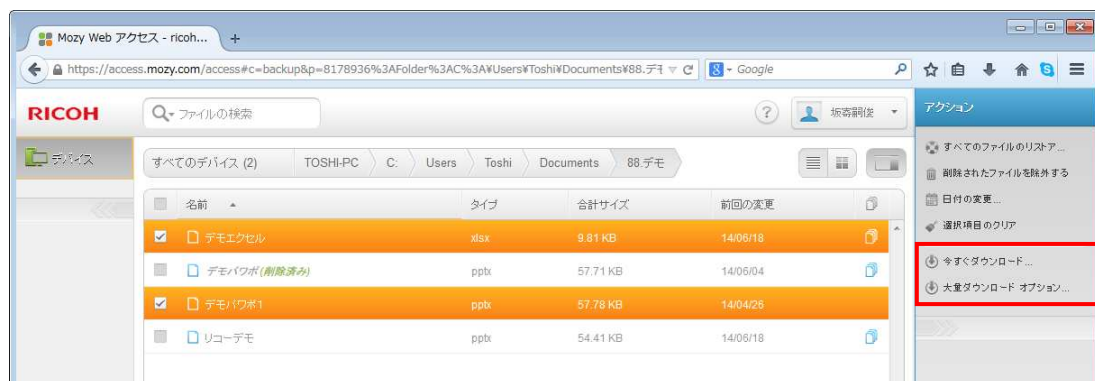
画面右上の「アクションメニュー」のアイコンをクリックすると、下記のメニューが画面の右側にスライドイン表示されます。削除されたファイルの検索には[削除されたファイルを含める]をクリックしてください(このメニューは、削除されたファイルが存在しない場合は表示されません)。そうすると削除されたファイルが表示されますので、そのファイル名の左側をチェックするか、バージョンのアイコンが表示された場合は、それをクリックして該当するファイル名の左側をチェックし、[ダウンロード]ボタンをクリックするとダウンロードが開始されます。





**【補足】 複数ファイルのダウンロード**

ダウンロード対象のファイルやフォルダが複数になると、[ダウンロード]ボタンは表示されなくなり、代わりにアクションメニューが表示されてダウンロードの二つのオプションが表示されます。



- [今すぐダウンロード...]をクリックすると、【STEP1】から【STEP4】で実行されるWindowsのダウンロード機能を利用したリストア処理が実行されます
- [大量ダウンロード オプション...]をクリックすると、Mozyが独自で提供するリストア処理が実行されます。Windowsのダウンロード機能は、暗号化されて保管されているバックアップデータをリストアする際、復号化することも圧縮する事ありませんが、Mozy提供のリストア処理はこれらを提供いたします。

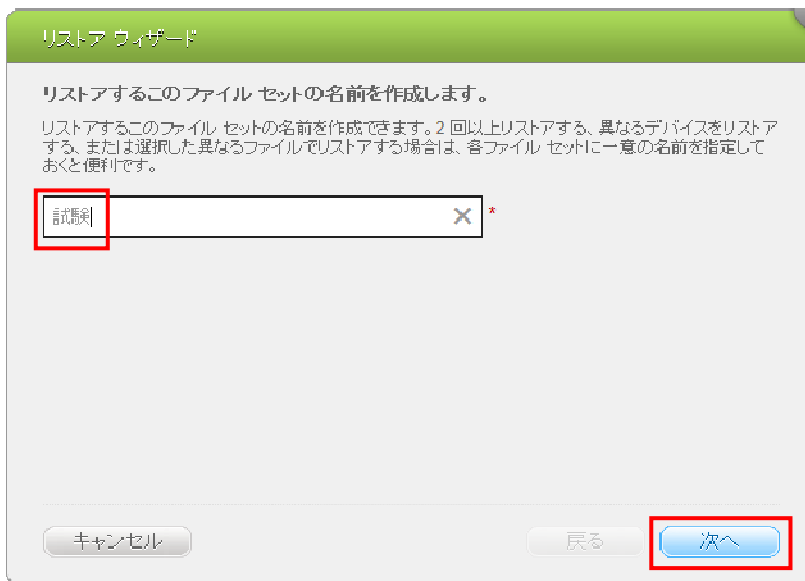
以下に[大量ダウンロード オプション...]について説明いたします。

[今すぐダウンロード...]は、Windows のダウンロード機能を利用するため、暗号化されて保存されているバックアップ・データは、データセンターのサーバ側で復号化され、ネットワークを通じてダウンロードされますが、[大量ダウンロード オプション...]は

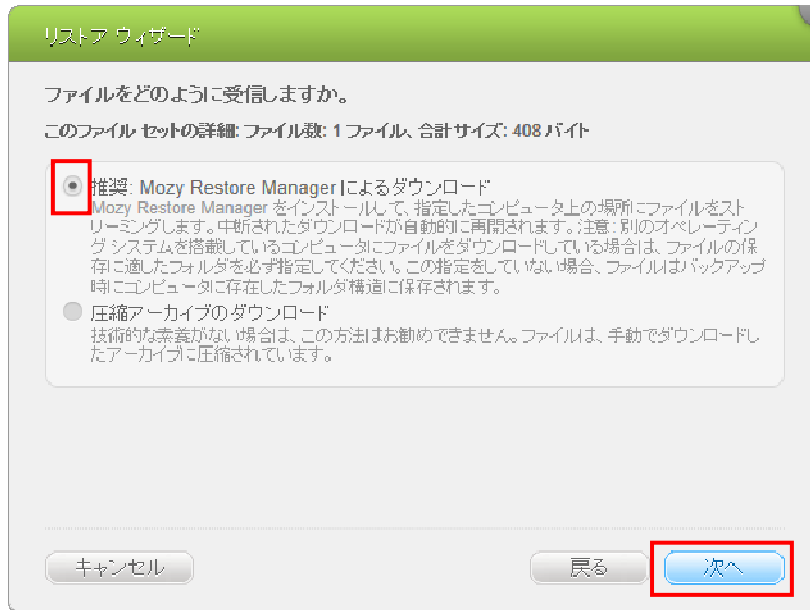
- ▶ Mozy が提供する Mozy Restore Manager (推奨)
- ▶ 圧縮アーカイブ

という 2 つのオプションを提供します。Mozy Restore Manager はデバイス側にインストールされ、自身が復号機能を持つため、ネットワーク上を暗号化されたままのデータ転送が可能になり、セキュリティ上の優位性を担保できます。一方の圧縮アーカイブは、復号はデータセンターのサーバ側で行われるものの、ネットワーク上は圧縮形式 (zip 方式) で転送されるためパフォーマンスに優れます。以下、これらの手順について説明いたします。

**【手順 1】** [大量ダウンロード オプション...]をクリックすると、リストア ウィザード画面が表示されますので、リストアするファイルをまとめたセットの名前を定義して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



【手順2】ダウンロードの方法を選択します。「推奨:Mozy Restore Manager によるダウンロード」を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



※「圧縮アーカイブのダウンロード」を選択された場合、zip で圧縮された形でダウンロードされますので解凍が必要となります。詳細は下記のオンラインマニュアルを参照ください。

<http://support-jp.mozy.com/articles/ja/Documentation/web-restore-download-wr>

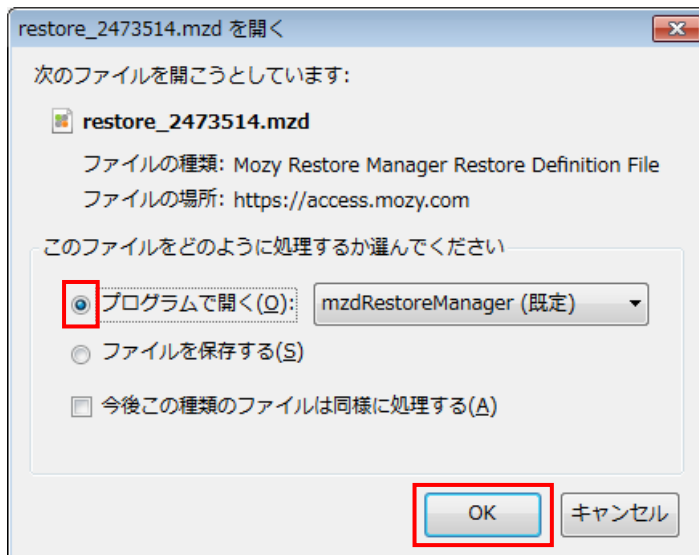
【手順3】[ダウンロードの開始]ボタンをクリックしてください。お使いの Web ブラウザで初めてリストアを実行するときは、この段階で Mozy Restore Manager ソフトのインストールが必要になりますので、指示に従ってインストールしてください。



※Mozy Restore Manager がインストールされていない場合、下記の画面が表示されますので①の「Mozy Restore Manager のダウンロード」をクリックし、インストールを開始してください。

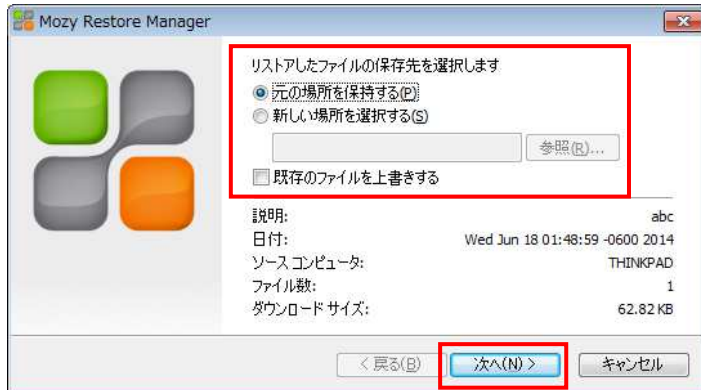


**【手順4】** ダウンロードされたリストアパッケージの「プログラムで開く(O):」をチェックし、[OK]ボタンをクリックしてください。

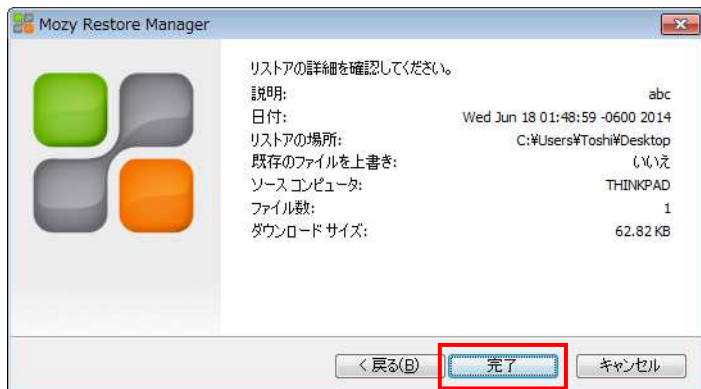


※お使いのブラウザによって表示の方法が異なります。またダウンロードフォルダ等に直接ダウンロードされた場合は、リストアパッケージファイルをダブルクリックし実行してください。

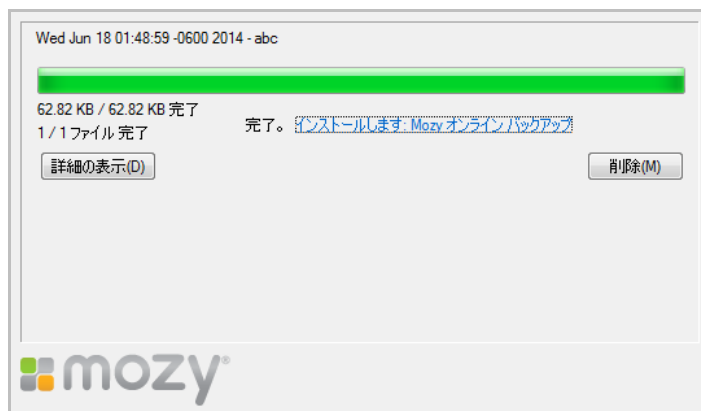
**【手順5】** Mozy Restore Manager が実行されますので、リストアする先を指定し、[次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。リストアが開始されます。



**【手順6】** リストアの詳細を確認して[完了]をクリックしてください。リストア対象ファイルのダウンロードを開始します。



**【手順7】** ダウンロードが完了すると下記の画面が表示され、指定したフォルダに対象ファイルがリストアされます。



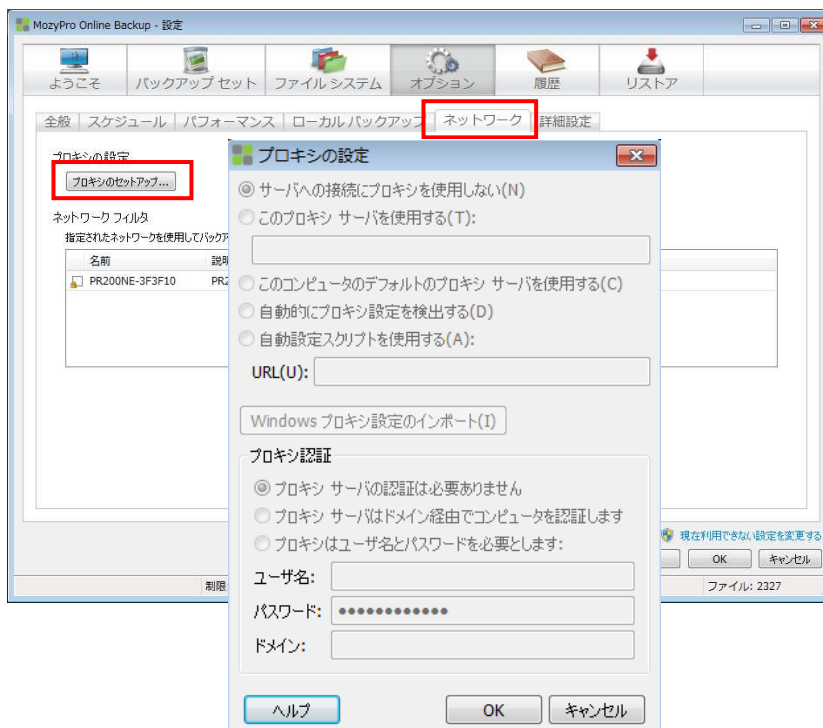


## 7. 補足情報

### 7.1 プロキシ環境でお使いの場合

クライアントソフトのインストール途中でプロキシ設定画面が表示されますので、お客様のプロキシ情報を入力してください。プロキシ情報はシステム管理者にご確認ください。

その後、インストールが進みバックアップするファイルの選択をして初回バックアップを開始する前に、設定画面の「オプション」の「ネットワーク」タブを選択し、[プロキシのセットアップ...]ボタンをクリックしてください。表示されます「プロキシの設定」画面で再度プロキシを使用することを選択してください。



プロキシの設定に関する詳細説明は下記のオンライン日本語マニュアルを参照ください。

<http://support-jp.mozy.com/articles/ja/Documentation/proxy-server-win-b>

<http://support-jp.mozy.com/articles/ja/Documentation/proxy-server-settings-c>

## 7.2 バックアップセット

### 7.2.1 標準バックアップセットの説明

本サービスでは以下の標準バックアップセットを登録しています。

バックアップセット名	定義情報
文書ファイル	デスクトップとマイドキュメントフォルダ内の拡張子が「odt pdf rtf txt」のファイル
一般的な Office ファイル	デスクトップとマイドキュメントフォルダ内の拡張子が「doc docm docx dot dotm dotx wps csv xla xlam xls xlsx xlt xltm xlsx xlw pot potm potx ppa ppam pps ppsm ppsx ppt pptm pptx」のファイル
音楽ファイル	デスクトップとマイドキュメントフォルダ内の拡張子が「wav mp3 wma aac m4a mp4 aa3 omg oma m3u pls midi aif aiff aifc ra ogg flac shn mpa au mid m4p asx bwf cda kar m3url m4b mp1 mp2 mpga rmi voc wpl snd」のファイル
画像ファイル	デスクトップとマイドキュメントフォルダ内の拡張子が「emf gif jpg jpeg jpe jfif png bmp dib rle ico ai art mng pct pic pict tif tiff nsk wmf」のファイル
メール (Outlook)	Outlook のメールフォルダとアドレス情報
メール (Outlook Express)	Outlook Express のメールフォルダとアドレス情報
メール (Thunderbird)	Thunderbird のメールフォルダとアドレス情報
メール (Windows メール)	Windows メールメールのメールフォルダ*
メール (Windows Live メール)	Windows Live Mail のメールフォルダとアドレス情報
メール (Becky! Internet Mail)	Becky のメールフォルダとアドレス情報
マイドキュメント	マイドキュメントのファイル
デスクトップ	デスクトップのファイル
インターネットお気に入り (Internet Explorer)	Internet Explorer のお気に入り
インターネットお気に入り (Firefox)	Firefox のお気に入り
インターネットお気に入り (Chrome)	Chrome のお気に入り

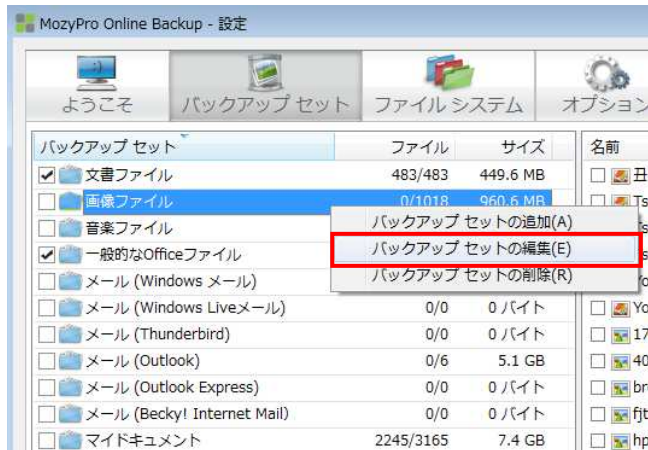
\* Windows メールは独自のアドレス情報を持たず、Windows アドレス帳の情報を利用しますが、このアドレス帳をバックアップセットで設定する事が出来ないため、ファイルシステムにて個別に指定する必要があります。

【注記】 メールソフト関係バックアップセットは、それぞれのメールソフトの標準インストールで登録された各種フォルダを検索対象にしており、カスタムインストールで登録場所を変更した場合は、このバックアップセットでは選択されません。その場合は、クライアントソフトのファイルシステム機能で必要なフォルダを指定してください。

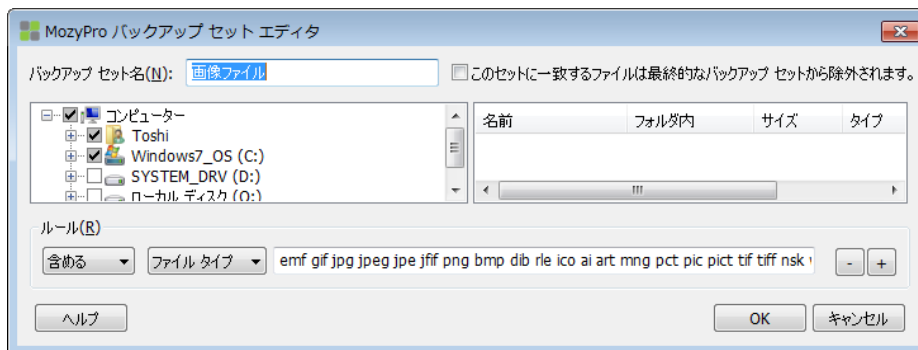
## 7.2.2 バックアップセットの作成とルールの確認・編集

クライアントソフトが自動生成するバックアップセットのルールの確認や変更、新規セットの作成ができます。

**【STEP1】** クライアントソフトを起動し、[バックアップセット]タブを選択します。編集したいバックアップセット名を選んで右クリックするとサブメニューが表示されます。



**【STEP2】** [バックアップセットの編集(E)]を選択するとバックアップセットエディタ画面が表示され、バックアップの内容確認や追加修正を行うことができます。以下の例「画像ファイル」ではファイル拡張子の“gif”、“jpg”、“png”、“bmp”等が規定されていることが確認できます。同じ操作でバックアップセットの追加や削除を行うことができます。



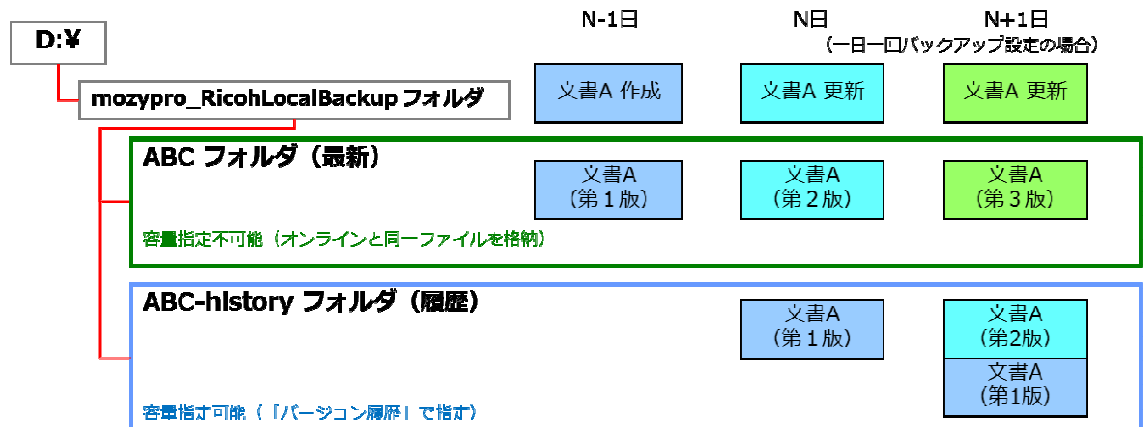
## 7.3 ローカルバックアップ

オンラインバックアップと同じ内容を、自社で管理するストレージ（サーバ、NAS、外付けドライブ等）にもバックアップできるローカルバックアップ機能は、高速でバックアップやリストアできるメリットがあります。完全に同一のファイルがオンラインとローカルの両方にバックアップされるため、この機能を利用するとオンラインバックアップと合わせて万全なバックアップシステムを構成できます。

### 7.3.1 ローカルバックアップの動作

ローカルバックアップは、指定されたドライブに以下の二種類の Windows 標準フォルダを設定しますが、ストレージ容量保護の観点から履歴データは保管するデータのサイズや容量を利用者が指定することができます。

- 最新フォルダ :  
オンラインと完全に同一の内容がこのフォルダに最新ファイルとして保存されます。容量の指定ができません。
- 履歴フォルダ :  
最新ファイルが最新フォルダに保存される時、それ以前のファイルがこのフォルダに移動されて保管されます。容量の指定が可能です。



※「ABC」はこのデバイスのコンピュータ名です。またこれら2つのフォルダは指定されたドライブのルートに作成されます。

履歴フォルダへの移動時にはファイル名に「年月日時分秒」の14桁の情報をファイル名の末尾に追加して記録します。

以下の例では2010年10月14日に作成されたファイルを2013年4月23日に変更した

とき、変更直後のバックアップ処理（2013年4月24日に実行）で古いファイルが履歴フォルダに移動したことを示しています。

【最新フォルダ】

名前	サイズ	種類	更新日時
考察.ppt	57 KB	Microsoft PowerPoi...	2013/04/23 23:23
考察 試験.ppt	53 KB	Microsoft PowerPoi...	2013/04/23 23:24
考察 試験 2.ppt	54 KB	Microsoft PowerPoi...	2013/04/24 8:50

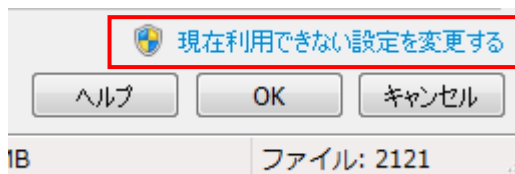
【履歴フォルダ】

名前	サイズ	種類	更新日時
考察_20130424055349.ppt	56 KB	Microsoft PowerPoi...	2010/10/14 16:27

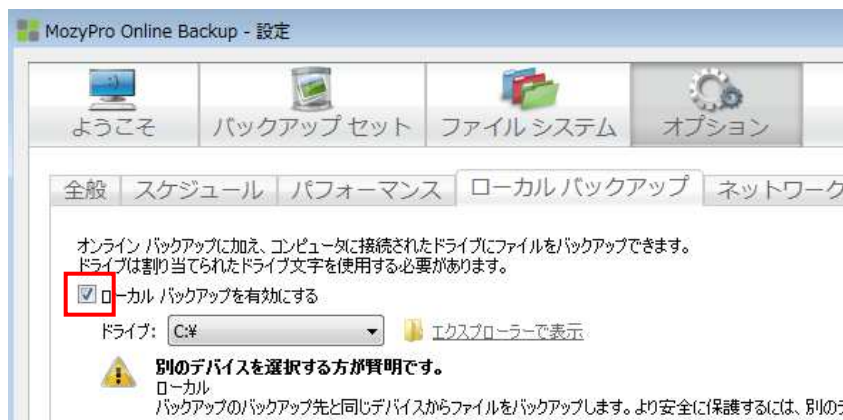
### 7.3.2 ローカルバックアップの設定

クライアントソフトを起動し、設定画面の[オプション]»[ローカルバックアップ]タブを選択してドライブ情報と履歴ファイルに関する情報を設定します。

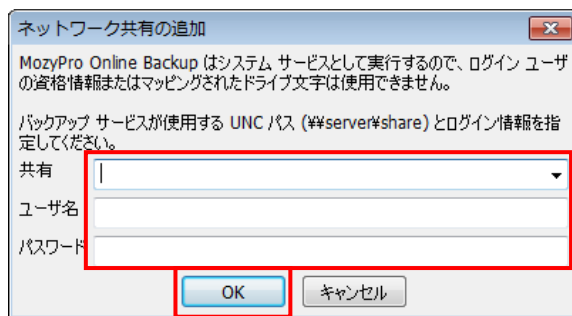
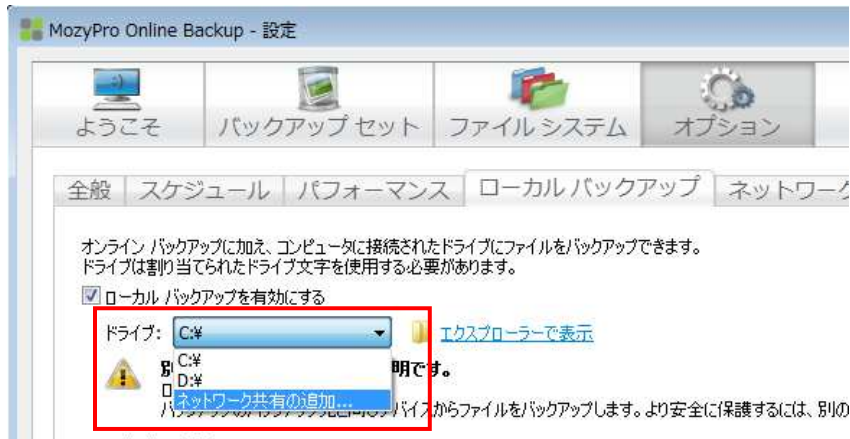
【STEP1】画面右下の青字で記載されている「現在利用できない設定を変更する」をクリックし、設定変更可能モードにします。



【STEP2】「ローカル バックアップを有効にする」にチェックを入れます



**【STEP3】** ローカルバックアップ用の二種類のフォルダを作成するドライブ名をクリックしてください。サーバやNASの場合、ドライブ名から[ネットワーク共有の追加...]をクリックすると、ネットワーク共有の追加ウィンドウが開きますので、ローカルバックアップ・デバイスのUNCパスを入力してください。そのデバイスのアクセスにパスワードが設定されている場合はユーザ名とパスワードも入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。



※ネットワーク・デバイスのUNCパスやユーザ名、パスワードが分からない場合、システム担当者にお問い合わせください。

【STEP4】「バージョン履歴」に関する[最大ファイル サイズ(M)]と[履歴フォルダの最大サイズ(M)]を指定します。

オンラインバックアップの場合、履歴フォルダは過去 90 日間の全ての履歴ファイルを自動で保管するため容量を気にする必要がありませんが、ローカルバックアップの場合はストレージの容量保護の観点から「履歴ファイル」に格納されるファイルに制限をかける事ができます（最新フォルダはオンラインバックアップと同一のため制限がかかりません）。

- 最大ファイルサイズ

履歴フォルダに格納されるファイルの最大値。下記の例では 2 GB 以上のファイルは履歴フォルダに格納されない指定となっています。

- 履歴フォルダの最大サイズ

履歴フォルダの最大値。この値を指定しないか 0 を指定すると、ローカルバックアップは履歴ファイルを保持せず、常に最新ファイルのみを保持します。

尚、履歴フォルダはドライブが一杯になるか、又は履歴フォルダ自体が一杯になると、新しいファイルの容量を確保するために最も古いバージョンのファイルから削除されます。


バージョン履歴

ローカルにバックアップされたファイルを修正する場合、このファイルの。

最大ファイル サイズ(M):  GB ←

履歴フォルダの最大サイズ(M):  GB ←

注:  
履歴フォルダが最大サイズに近づく、新しいファイル用の領域

 [バージョン履歴を表示](#)

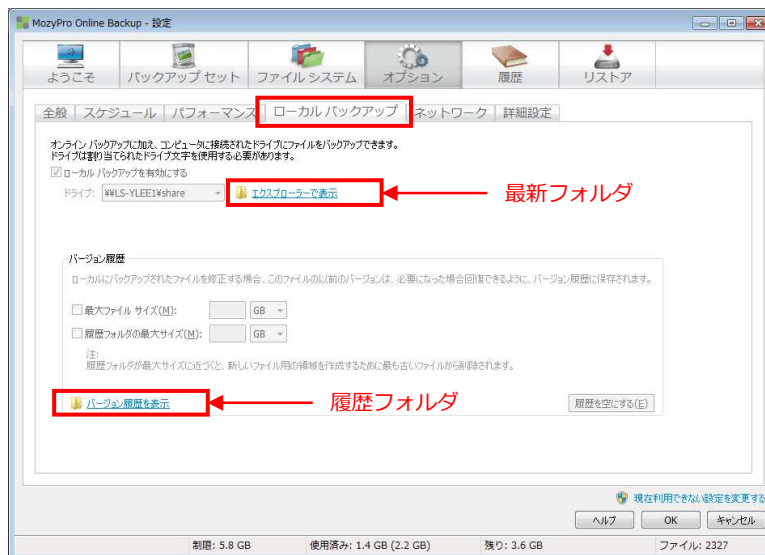
以上の設定が終了したら[OK]ボタンをクリックします。これで次回のオンラインバックアップがスケジュールされるタイミングでローカルバックアップも有効になります。

### 7.3.3 ローカルバックアップからのリストア

ローカルバックアップはオンラインバックアップと異なり、暗号化されずにローカルのストレージにコピーが作られますので、リストアも基本は Windows でのファイルやフォルダの単純なファイルコピーとなりますが、該当するフォルダから自分でファイルを検索し、リストアしたい場所にコピーするだけの単純な作業ですが、ここではクライアントソフトを利用したローカルバックアップからのリストアの方法について説明いたします。

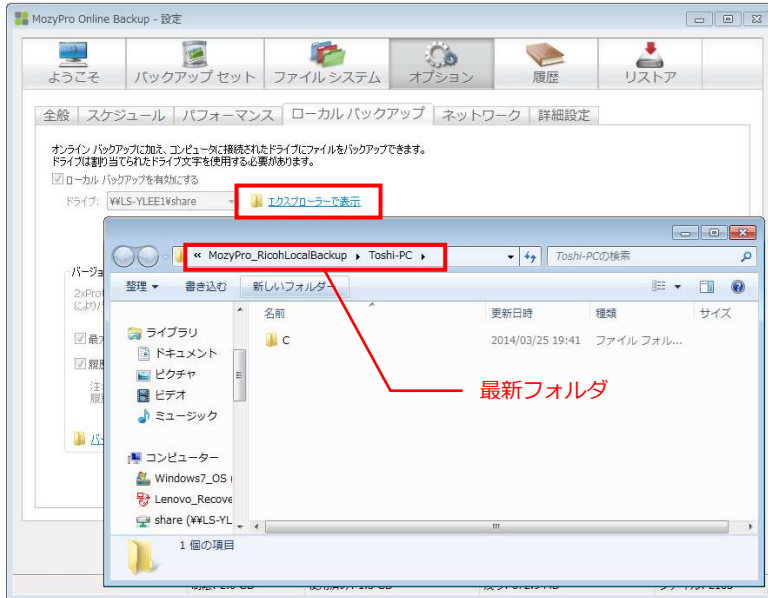
**【STEP1】** 設定画面の[ローカルバックアップ]タブをクリックします。

- ▶ 最新フォルダからリストアしたい場合・・・【STEP2】へ
- ▶ 履歴フォルダからリストアしたい場合・・・【STEP4】へ

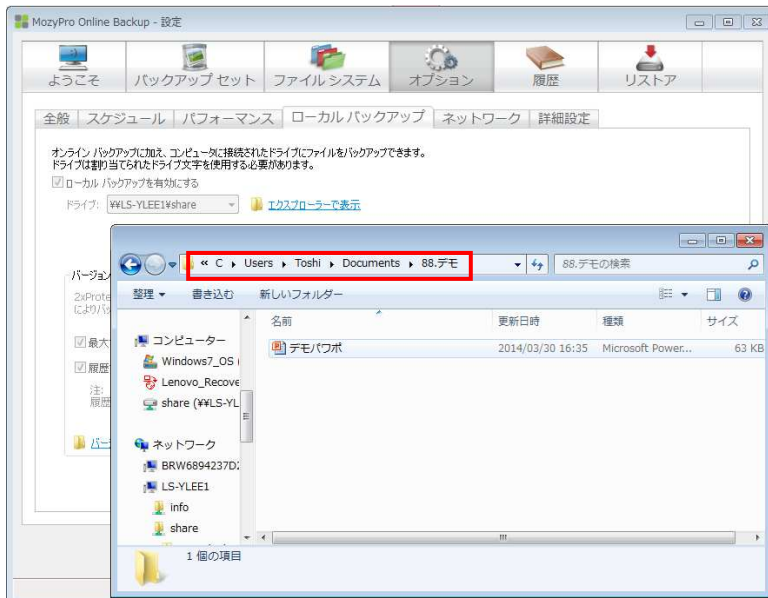




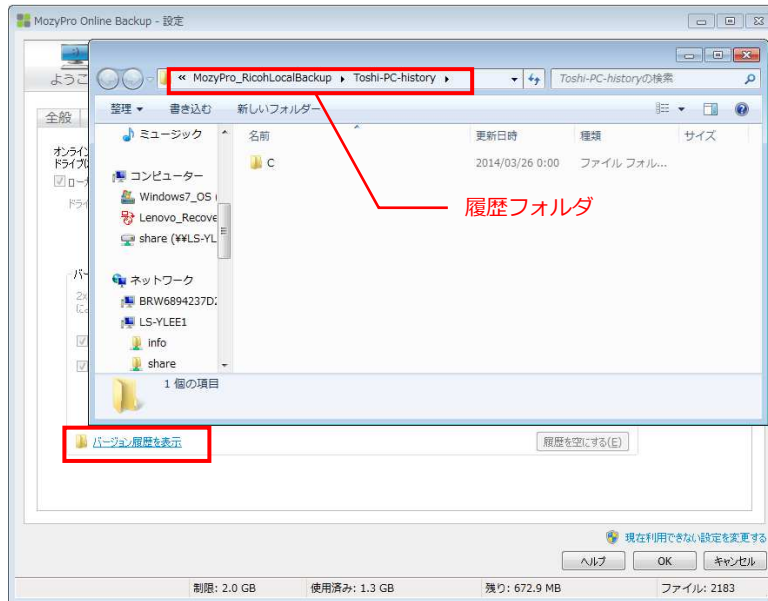
**【STEP2】** [エクスプローラで表示]をクリックすると「最新フォルダ」の内容がエクスプローラ表示されます。



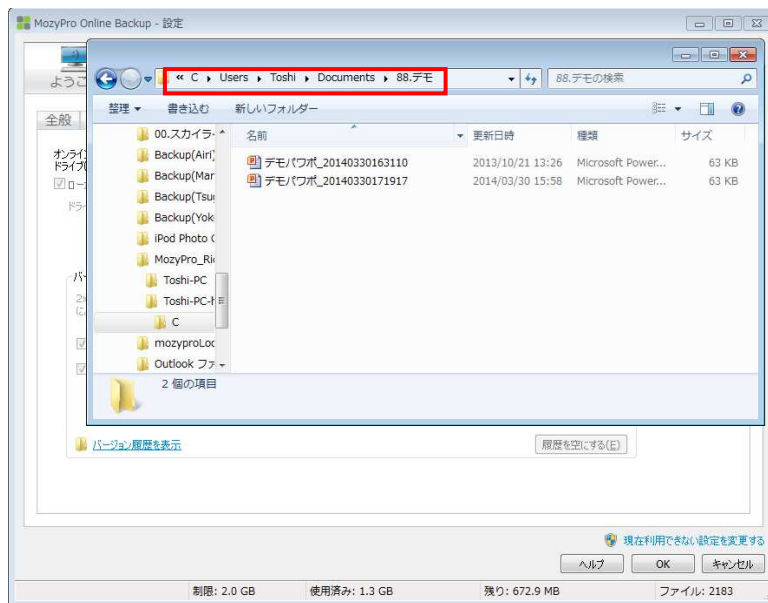
**【STEP3】** 最新フォルダの階層構造をたどり、リストアしたいファイルを探し出し、そのファイルをコピーして自分のデバイスの該当する場所に貼り付けることによりリストアが可能です。



【STEP4】 [バージョン履歴を表示]をクリックすると「履歴フォルダ」の内容がエクスプローラ表示されます。



【STEP5】 履歴フォルダの階層構造をたどり、リストアしたいファイルを探し出し、その中でファイル名の後に付いている14桁の日付時間情報を参考にして当該ファイルを選別し、それをコピーして自分のデバイスの該当する場所に貼り付けることによりリストアが可能です。



※このリストア方法はローカルバックアップが有効な状況以外では利用できませんので、無効にした後にリストアしたい場合は、Windowsのエクスプローラを利用してローカルバックアップが保管されている該当フォルダから対象となるファイルをコピーしてください。

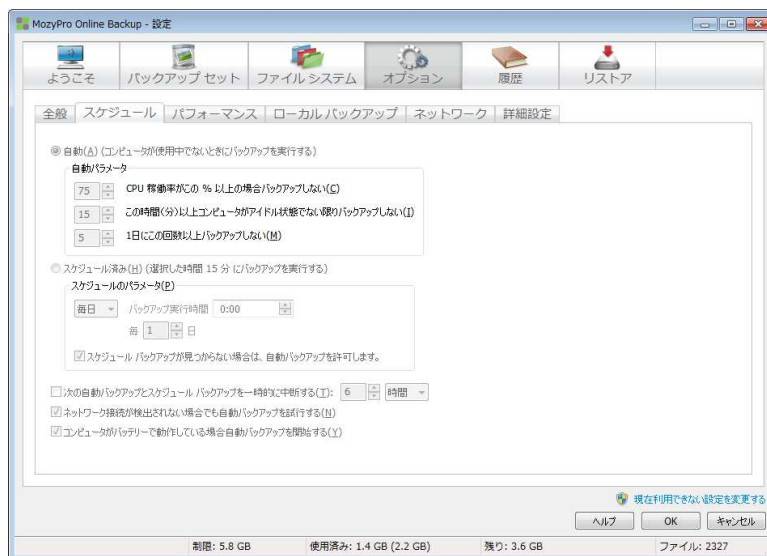
## 7.4 バックアップ動作条件の変更設定

### 7.4.1 標準のバックアップ起動条件

コンピュータの動作状態をチェックして[自動(A)]で起動するモードで、初期値として以下の条件を設定しています。

- CPU が 7 5 %以上の稼働率の場合バックアップしない
- コンピュータが 1 5 分以上アイドル状態でないとバックアップしない
- 一日 5 回以上バックアップしない
- 7 日以上バックアップされなかった場合警告を出す
- ネットワーク接続が検出されない場合でも自動バックアップを試行する
- コンピュータがバッテリーで動作している場合自動バックアップを開始する

これら条件はお客様が自由に変更できます。クライアントソフトの[オプション]タブをクリックしてください。動作条件を変更する画面に切り替わりますので、「7.4.2 バックアップ起動条件の変更」を参照して設定変更を行ってください。



夜間はデバイスの電源を切る運用等をされている場合、スケジュール設定としては[自動(A)]スケジュールをお勧めいたします。クライアントソフトはCPU負荷をできる限り軽減した処理方式を採用しておりますので、デバイスの使用時にクライアントソフトがバックグラウンドで稼働しても操作への影響は軽微です。

#### 7.4.2 バックアップ起動条件の変更

バックアップ起動条件として、次の二種類の方法が用意されています。

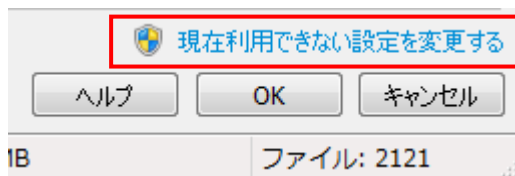
- ▶ 自動(A)・・・コンピュータが使用中でない時にバックアップを起動
- ▶ スケジュール済み(H)・・・決まった日時にバックアップを起動

以下にそれぞれの設定変更の方法について説明いたします。

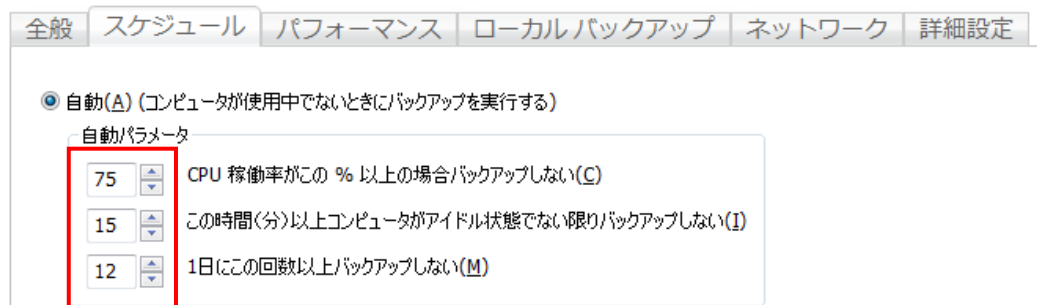
##### 自動(A)

初期値として設定されている「自動パラメータ」の値を変更する方法です。

**【STEP1】** 画面右下の「現在利用できない設定を変更する」をクリックし、設定変更可能モードにします。

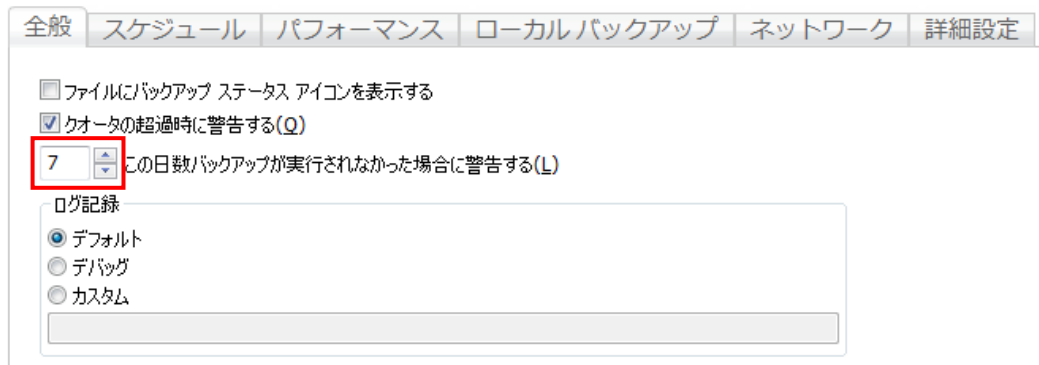


**【STEP2】** [スケジュール]タブをクリック後、自動パラメータの値を変更し、起動のタイミングや回数を変更します。



この自動パラメータの中で、3番目のパラメータが1日の起動回数に一番影響があります。初期値の「1日5回」の設定だと24時間/5回=4時間48分が経過すると起動を試み、その他2つの条件であるCPU稼働率とアイドル時間の設定が満足されれば起動され、満足されない場合は満足されるまで起動を遅らせます。

【STEP3】 必要であれば[全般]タブをクリック後、「この日数バックアップが実行されなかった場合に警告する(L)」の日数を変更してください。（初期値は7日です）

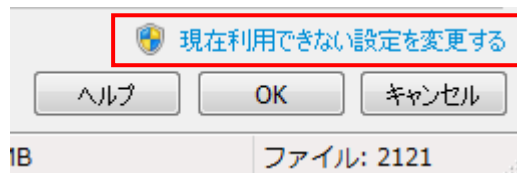


【STEP4】 [OK]ボタンをクリックしてください。次回のバックアップから設定が有効になります。この設定で1～2週間運用し、最適な設定にしてください。

### スケジュール済み(H)

コンピュータの動作状態とは無関係に、決まった時間にバックアップを起動する「スケジュール済み(H)」モードを設定するための方法です。

【STEP1】 画面右下の「現在利用できない設定を変更する」をクリックし、設定変更可能モードにします。



**[STEP2]** [スケジュール]タブをクリック後、「スケジュール済み(H)」をチェックします。

全般 スケジュール パフォーマンス ローカルバックアップ ネットワーク

自動(A) (コンピュータが使用中でないときにバックアップを実行する)

自動パラメータ

75 CPU稼働率がこの%以上の場合バックアップしない(C)

15 この時間(分)以上コンピュータがアイドル状態でない限りバックアップしない(I)

5 1日にこの回数以上バックアップしない(M)

スケジュール済み(H) (選択した時間 15分 にバックアップを実行する)

スケジュールのパラメータ(P)

毎日 バックアップ実行時間 0:00

毎 1 日

スケジュール バックアップが見つからない場合は、自動バックアップを許可します。

**[STEP3]** スケジュールは「毎日 1回」から「7週間おきに 1回」までの設定が可能です。まず[毎日]か[毎週]を選択し、

- ▶ [毎日]の場合、バックアップ実行時間とタイミング (何日毎) を設定します。
- ▶ [毎週]の場合、曜日、バックアップ実行時間とタイミング (何週毎) を設定します。

全般 スケジュール パフォーマンス ローカルバックアップ ネットワーク

自動(A) (コンピュータが使用中でないときにバックアップを実行する)

自動パラメータ

75 CPU稼働率がこの%以上の場合バックアップしない(C)

15 この時間(分)以上コンピュータがアイドル状態でない限りバックアップしない(I)

5 1日にこの回数以上バックアップしない(M)

スケジュール済み(H) (選択した時間 15分 にバックアップを実行する)

スケジュールのパラメータ(P)

毎週 バックアップ実行時間 0:00 実行日 金曜日

毎 1 週間

スケジュール バックアップが見つからない場合は、自動バックアップを許可します。

**【STEP4】** [OK]ボタンをクリックしてください。次回のバックアップから設定が有効になります。

※この設定の場合、バックアップ実行時間に設定した時刻ちょうどではなく、データセンターのサーバ負荷を分散させるため設定時間の前後 15 分以内にバックアップが起動されるよう調整されます。また設定時間にデバイスの電源が切られている場合、バックアップは実行されませんのでご注意ください。

## 7.5 コンピュータの追加と置換

### 7.5.1 コンピュータの追加

クライアントソフトの導入をユーザが管理する複数のコンピュータに行うことができます。これには管理者によるユーザ登録時に、複数のデバイス数を指定する必要があります。ユーザ登録後でも管理者に依頼し、自分のユーザのデバイス数を増やしてもらい、通知してもらう事で導入が可能になります。

**【STEP1】** 同一ユーザの2台目以降のコンピュータにクライアントソフトのインストールを行うにあたり、もはやユーザのアクティベーションは必要ありません。最初のコンピュータでダウンロードしたクライアントソフトを新しいコンピュータに転送し、インストール作業を進めます（ダウンロードしたクライアントソフトの場所が不明の場合、管理者に依頼しダウンロードサイトの URL を確認ください）。

**【STEP2】** 「4.2 クライアントソフトのインストールとサインイン」の**【STEP4】** から**【STEP8】**の作業を実施します。但し**【STEP8】**のサインイン処理で入力する「メールアドレス」と「パスワード」は、最初のコンピュータにインストールしたクライアントソフトと同じものを入力してください。

**【STEP3】** 「4.2 クライアントソフトのインストールとサインイン」の**【STEP8】**が終了すると**【STEP9】**の画面の代わりに、下記の画面が表示されます。これは**【STEP8】**で入力されたメールアドレスが既に最初のコンピュータで使われているためです。「このコンピュータを追加する」にチェックが入っている事を確認し、[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。





【STEP4】この後は「4.2 クライアントソフトのインストールとサインイン」の【STEP9】の処理に戻って作業を続行し、初回バックアップを完了させます。

### 7.5.2 コンピュータの置換

本サービスを利用してバックアップしたコンピュータを置き換えるには、置き換えるコンピュータにこれまでバックアップしたすべてのファイルを移動、ダウンロード、またはリストアすることから始まります。

元のコンピュータが利用できる場合は、手でファイルを新しいコンピュータに転送する方法があります。これは「6.2 Web ブラウザを利用したリストア」よりもかなり高速ですが、すべてのファイルを完全に転送するのに注意が必要です。

元のコンピュータが利用できない場合は、「6.2 Web ブラウザを利用したリストア」またはローカルバックアップが存在する場合は、そこから新しいコンピュータに転送する方法もあります。

また元のコンピュータと新しいコンピュータのプラットフォームが異なる場合（Windows のバージョン等が異なる等）、フォルダ構造が異なるので、バックアップからの単純なリストア作業だけでは正しいフォルダ構造が反映されない可能性があります。

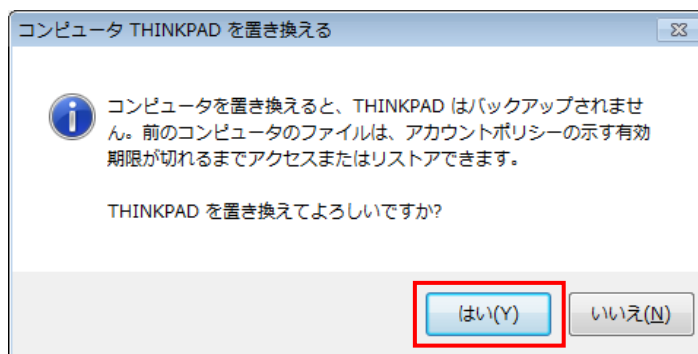
【STEP1】いずれにせよ新しいコンピュータでの上記の作業が終了しましたら、クライアントソフトのインストールとサインインの作業を実施します。ユーザのアクティベーションは必要ありません。「7.5.1 コンピュータの追加」と同じく最初のコンピュータでダウンロードしたクライアントソフトを新しいコンピュータに転送し、インストール作業を進めます（ダウンロードしたクライアントソフトの場所が不明の場合、管理者に依頼しダウンロードサイトの URL を確認ください）。

【STEP2】「4.2 クライアントソフトのインストールとサインイン」の【STEP4】から【STEP8】の作業を実施します。但し【STEP8】のサインイン処理で入力する「メールアドレス」と「パスワード」は、最初のコンピュータにインストールしたクライアントソフトと同じものを入力してください。

【STEP3】「4.2 クライアントソフトのインストールとサインイン」の【STEP8】が終了すると【STEP9】の画面の代わりに、下記の画面が表示されます。これは【STEP8】で入力されたメールアドレスが既に最初のコンピュータで使われており、かつこのユーザが利用可能なデバイスが1台であるためです。「前にバックアップしたコンピュータを新しいコンピュータと置き換える」にチェックが入っている事を確認し、[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。



【STEP4】コンピュータを置き換える旨の下記のメッセージが表示されます。元のコンピュータ名を確認し、正しければ [はい(Y)] をクリックしてください。



【STEP4】この後は「4.2 クライアントソフトのインストールとサインイン」の【STEP9】の処理に戻って作業を続行し、初回バックアップを完了させます。尚、このコンピュータの置換処理が正しく終了した場合、元のコンピュータにインストールされているクライアントソフトのバックアップはスケジュールされなくなります。

## 7.6 モバイルアプリケーション

### 7.6.1 モバイルアプリケーションのインストール

オンラインバックアップされたファイルを、モバイル端末にダウンロードすることができます。最新ファイルのみが対象になりますが、Android 用、iOS 用のアプリが用意されており、モバイル端末にダウンロードしてログインする事により利用可能になります。次の手順に従ってモバイルアプリをインストールしてください。

**【STEP1】** 次のいずれかの方法を選択してください。

(Android) Google Play を開きます。

(iOS) App Store を開きます。

**【STEP2】** 検索フィールドを開きます。

(Android) 検索、 をタップします。

(iOS) 検索、 をタップします。

**【STEP3】** 検索フィールドに「Mozy」と入力してから、次の手順に従います。

(Android) 「Go」をタップします。

(iOS) 「検索」をタップします。

**【STEP4】** モバイルアプリをタップしインストールします。

(Android) 「インストール」をタップしてから「OK」をタップし、権限を受け入れます。

(iOS) 「無料」をタップしてから「インストール」をタップします。求められたら、Apple ID を入力してから「OK」をタップします。

※この導入方法は、2014年7月現在の情報です。

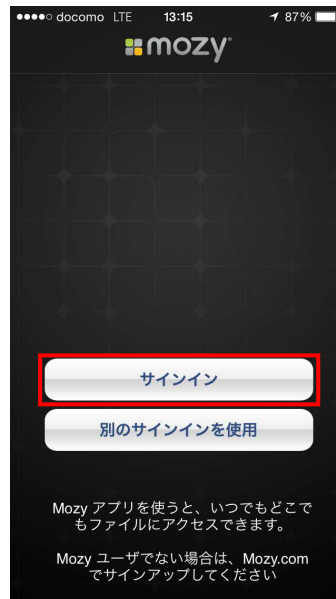
**【STEP5】** モバイルアプリにログインします。

(Android) 「Mozy にサインイン」をタップします。

(iOS) 「サインイン」をタップします。



Android



iOS

**【STEP6】** 該当するフィールドに、「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、以下のアクションを選択してください。尚、「ユーザ名」と「パスワード」は「4.2 クライアントソフトのインストールとサインイン」で入力したメールアドレスとパスワードの事です。

(Android) 「サインイン」をタップします。

(iOS) 「Go」をタップします。

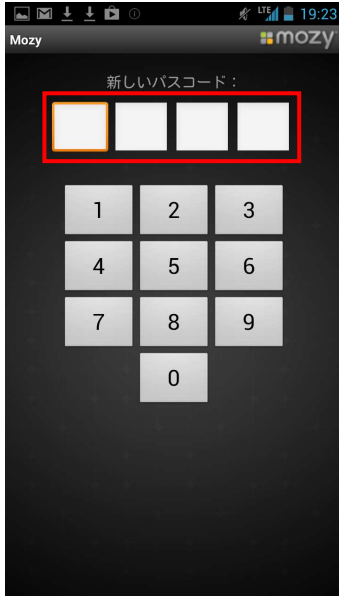


Android



iOS

【STEP7】（オプション）パスコードを作成するには、「はい」をタップし、次に4つの数字からなるパスコードを入力し、確認します。



Android



iOS

【STEP8】モバイルアプリのメニュー画面が表示されます。



Android



iOS

## 7.6.2 モバイルアプリケーションの利用方法

モバイルアプリの基本機能は最新のオンラインバックアップされたファイルのダウンロードと閲覧です。端末側でのファイルの更新やアップロードはサポートされておりません。それ以外の機能は Android 端末と iOS 端末でメニュー構成や操作ボタンに若干の相違があります。扱えるファイルのタイプにも相違があります。

まず対象ファイルの選択方法に関し、2つのメニューが用意されています。

- **マイ Mozy :**  
バックアップされたファイルのカテゴリ、履歴、最近の更新等で絞り込み、対象ファイルを探す方法です。
- **全ファイル :**  
バックアップされたファイルのフォルダ構造で絞り込み、対象ファイルを探す方法です。

以下にそれぞれの方法についてかいせつ説明いたします。

### 【マイ Mozy】メニュー



Android

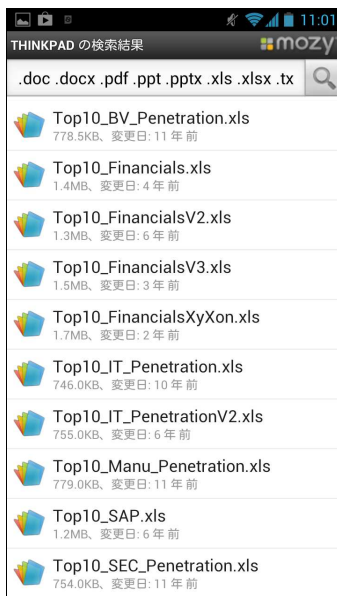


iOS

対象となるファイルを絞り込む方法として4つのカテゴリ別表示方法が用意されています（上記画面の点線枠）。それぞれのカテゴリでダウンロードの対象となるファイルのタイプは以下の拡張子をもつファイルです。

Android	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 写真「bmp jpg png gif tif」</li> <li>● ドキュメント「txt doc docx pdf rtf wps odt xls xlsx wks csv ods ppt pptx pps odp vsd odg html htm」</li> <li>● 音楽「mp3 wav m4a wma aif aac」</li> <li>● ビデオ「mov mp4 3gp 3g2 qt mpg mpeg avi wmv」</li> </ul>
iOS	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 写真「jpg gif tif」</li> <li>● ドキュメント「txt doc docx pdf rtf xls xlsx vcf ppt pptx html htm」</li> <li>● 音楽「mp3 wav m4a wma aif aac」</li> <li>● ビデオ「mov mp4 m4v avi」</li> </ul>

いずれかのカテゴリーをタップすると、当該カテゴリーのファイル一覧が表示されますので、閲覧したいファイルをタップすると、そのファイルがダウンロードされ表示されます。



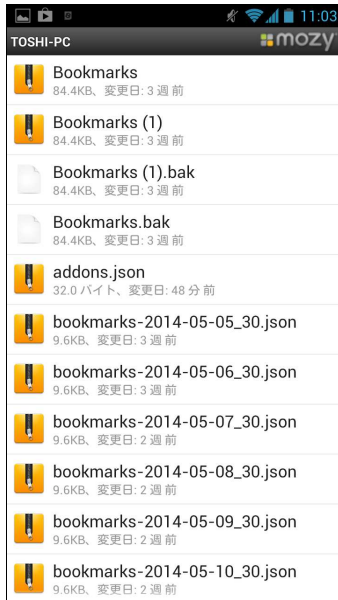
Android



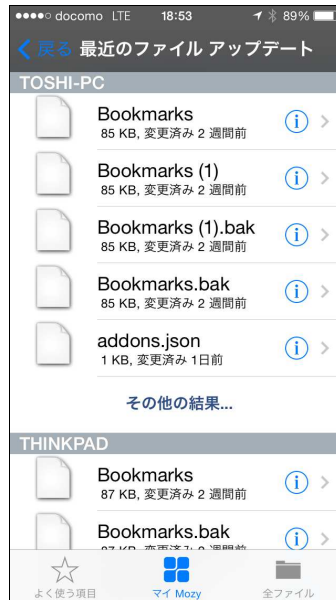
iOS

ファイルのタイプ以外で対象を絞り込む方法として「最近」と「ダウンロード済み (Android) /履歴 (iOS)」があります。

- 「最近」：最近のファイルアップデートに関する情報の一覧が表示されます。閲覧したいファイルをタップすると、そのファイルがダウンロードされ表示されます。

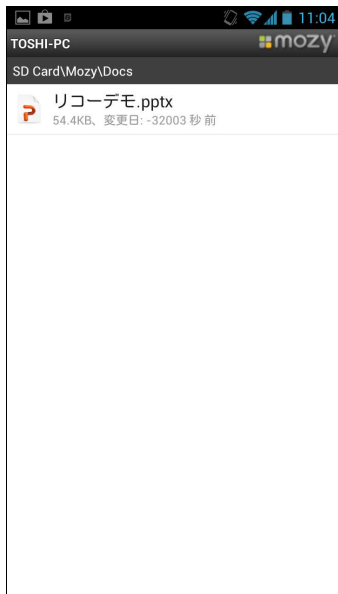


Android

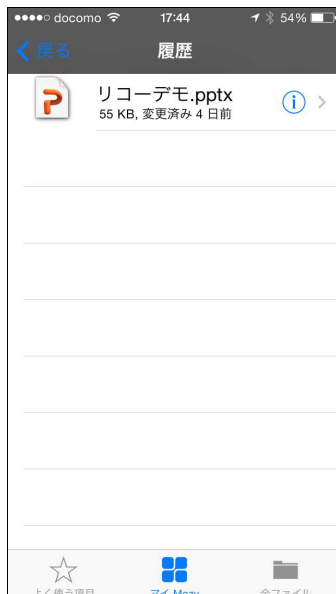


iOS

- 「ダウンロード済み (Android) /履歴 (iOS)」：ダウンロード履歴に関する情報の一覧が表示されます。閲覧したいファイルをタップすると、そのファイルが表示されます。



Android



iOS



【全ファイル】メニュー

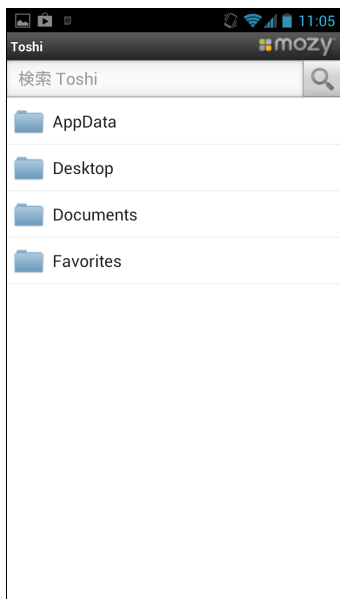


Android

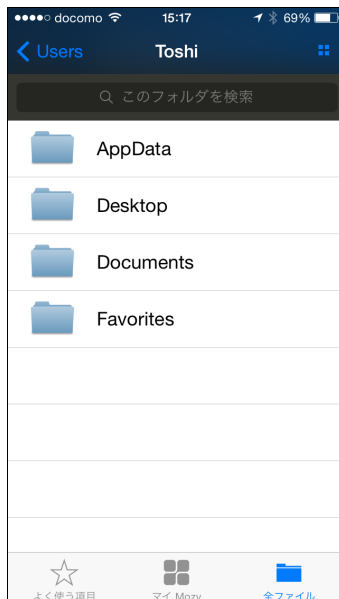


iOS

バックアップされているコンピュータ名が表示されます。その中の対象コンピュータ名をタップし、そこからルートフォルダ（通常 C:）を経由して下位構造のフォルダを辿り、対象ファイルを見つけてタップすると、そのファイルがダウンロードされ表示されます。



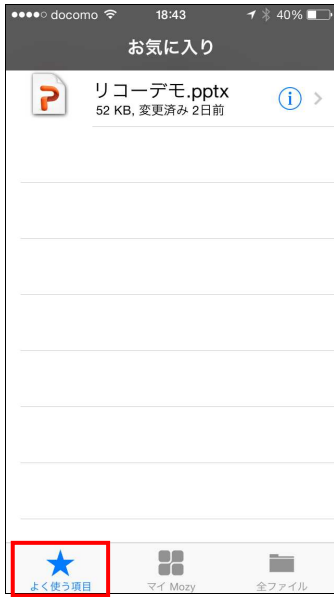
Android



iOS

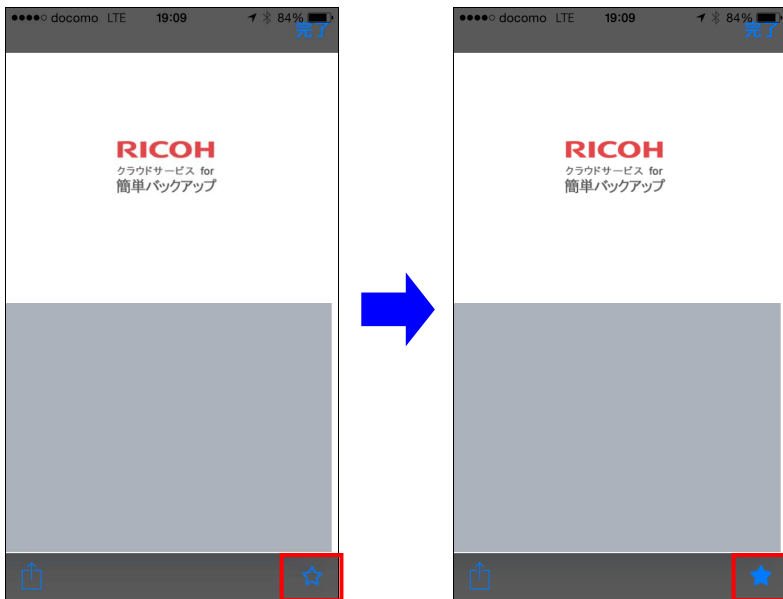
上記いずれかの方法でダウンロードされ、表示されるファイルですが、Android 端末の場合は SD カード/Mozy というフォルダに保存されますが、iOS 端末の場合はアプリの一時領域に保存されます。従って iOS 端末の場合、後述する「よく使う項目」メニューでお気に入り登録することで Mozy の管理領域に保持されます。

【よく使う項目】メニュー (iOS のみ)



iOS

ダウンロードされたファイルが表示されている時、画面右下の☆をタップし、★に変わった時点でこのメニューにそのファイルが登録され、以降ダウンロードする事なく iOS 端末に保存されたファイルを参照し、閲覧することができ



iOS

iOS

この内容は電源のオン・オフ等で削除されることはありませんが、設定画面の[Mozy からサインアウト]をタップし下記のメッセージが出て[はい]をタップすると削除されます。



iOS

### ファイルの共有

ファイルの共有方法は Android 端末と iOS 端末で異なります。Android 端末の場合、ファイルが OS の配下に保管されますので、共有方法も Android の OS が持つ共有機能を利用しますが、iOS 端末の場合、ファイルが Mozy 配下に管理されるため、アプリ自身が共有機能を持っています。以下にその利用方法を記載いたします。

**【STEP1】** 「共有」をタップします。



iOS

【STEP2】 「電子メール ファイル」 をタップします。



iOS

【STEP3】 当該ファイルが添付された電子メールのテンプレートが表示されますので、宛先に受信者のメールアドレスを入力し「送信」をタップします。



iOS

【設定】メニュー



Android

Android



iOS

iOS

アプリとしての「設定」メニューは、以下の操作で表示します。

(Android) 「メニュー」ボタンを押すと画面下に「設定」が表示されますので、それをタップします。

(iOS) 画面右上の「設定」をタップします。

## 7.7 その他の設定

### 7.7.1 パスワードの変更

ユーザの管理するパスワードは「4.1 アカウントのアクティベーション」のステップで設定され、「4.2 クライアントソフトのインストールとサインイン」のサインイン時と「6.3 Web ブラウザを利用したリストア」のリストア用バックアップサイトへのログイン時に利用されます。このパスワードの変更はリストア用バックアップサイトへログイン後、「パスワードの変更」メニューにより行います。以下にその手順を説明いたします。

**【STEP1】** ブラウザで以下のバックアップサイトにアクセスし、クライアントソフトのサインイン時に指定したメールアドレスを「電子メール」に、パスワードを「パスワード」に入力し、[ログイン]ボタンをクリックしてください。

<https://ricoh.mozypro.com/login/user> (ユーザ用の URL となります)



**【STEP2】** 本サービスを利用するお客様の全てのコンピュータの管理状況が表示されますので、[パスワードの変更]メニューをクリックしてください。



**【STEP3】** パスワードの変更画面が表示されますので[現在のパスワード]に現在のパスワードを、[パスワード]と[パスワードの確認入力]に新しいパスワードを入力し、[変更内容の保存]をクリックしてください。



**【STEP4】** 「○のパスワードが変更されました。」と表示されたらパスワードの変更処理は完了です。（○には登録されたユーザ名が入ります）



## 8. オンラインドキュメント

本サービスの運用会社 Mozy はオンライン日本語マニュアルを用意しておりますので、必要に応じてご参照ください。但し、本サービスの提供する機能仕様は Mozy が提供するものの一部であり、Mozy のサービス範囲が広域に及んでいるため、本マニュアルに記載のない機能や仕様に関する記述は本サービス対象外です。

<https://support-jp.mozy.com/articles/ja/documentation/mozy-c-overview-mozy-c>



## 9. 機能一覧

「クラウドサービス for 簡単バックアップ」は、クライアントソフトとリストア専用のWebブラウザから構成されており、それぞれ以下のような機能や情報を提供いたします。

種別	機能
クライアントソフト「ステータス」ウィンドウ	
バックアップ状況表示	<ol style="list-style-type: none"> <li>バックアップの未実行時 <ul style="list-style-type: none"> <li>前回のバックアップを実施した時間</li> <li>次回のバックアップの予定日時</li> <li>バックアップ・スケジュールの設定内容と変更</li> </ul> </li> <li>バックアップの実行時 <ul style="list-style-type: none"> <li>バックアップの進行状況</li> <li>バックアップされたファイル数</li> <li>バックアップを待機中のファイル数</li> </ul> </li> </ol>
手動バックアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>手動でバックアップを起動</li> </ul>
バックアップされたファイル一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>バックアップされたファイルの一覧表示と検索</li> </ul>
クライアントソフト「設定」ウィンドウ	
バックアップセット	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準設定のバックアップセットを用意（編集、削除も可能）</li> <li>個別設定のバックアップセットの追加、編集、削除</li> </ul>
ファイルシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>エクスプローラ形式のバックアップ対象ファイル選択</li> <li>ネットワークドライブのバックアップ対象ファイル選択</li> <li>選択はファイル単位、フォルダ単位どちらも可</li> <li>フォルダが選択された場合、そこに新たに追加されたファイルは自動的にバックアップ対象となる</li> </ul>
オプション	<ol style="list-style-type: none"> <li>全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>容量オーバー時の警告の指定</li> <li>未バックアップ期間の設定と警告</li> </ul> </li> <li>スケジュール <ul style="list-style-type: none"> <li>自動か時間指定かを選択（デフォルトは自動）</li> <li>自動バックアップの条件とオプションを指定</li> <li>時間指定の場合の時分、間隔、回数等を指定</li> </ul> </li> <li>パフォーマンス</li> </ol>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークの帯域制限の設定（デフォルトはなし）</li> <li>・バックアップ速度の設定（デフォルトは中間値）</li> </ul> <p>4. ローカルバックアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローカルバックアップの有効化と保管場所、容量の設定</li> </ul> <p>5. ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロキシの設定</li> <li>・ネットワーク・フィルタの設定</li> </ul> <p>6. 詳細設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種オプションの設定</li> <li>・言語の選択（日本語、英語が選択可能）</li> </ul>
履歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バックアップ履歴と結果の一覧表示</li> <li>・エラーの場合、エラーコードのリンクを「結果」欄に表示</li> <li>・バックアップされたファイルの詳細の一覧表示</li> </ul>
リストア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リストアすべきファイル・フォルダの選択</li> <li>・90 日前までの全ファイル・フォルダを選択可能</li> <li>・1 日複数回バックアップされた場合、それぞれの時間帯を選択</li> <li>・バックアップされた特定のファイル名、フォルダ名を検索</li> <li>・リストアすべき場所を選択</li> <li>・リストアすべき同一ファイルが存在する場合のオプション指定</li> </ul>
Web ブラウザを利用したリストア	
リストア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リストア対象のデバイスの選択</li> <li>・特定デバイスの中のリストア対象ファイル・フォルダの指定</li> </ul>
パスワードの変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスワードの変更</li> </ul>
モバイルアクセスの失効	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モバイルアプリからのサインインを出来なくする</li> </ul>